

根岸公民館改築工事

設計図

	次長兼課長	課長補佐	担 当 者		
決 裁				決 裁 印	

川口市建設部建築課

根岸公民館改築工事

番号	図面名称	確認申請	番号	図面名称	確認申請	番号	図面名称	確認申請	番号	図面名称	確認申請	番号	図面名称	確認申請	番号	図面名称	確認申請
	意匠図												構造図				
A-001	特記仕様書 (1)		A-041	3階 天井伏図	○	A-101	1階 家具キープラン		A-201	外構計画図		S-01	特記仕様書 (その 2-1)	○			
A-002	特記仕様書 (2)		A-042	建具キープラン	○	A-102	2階 家具キープラン		A-202	雨水排水計画図		S-02	特記仕様書 (その 2-2)	○			
A-003	特記仕様書 (3)		A-043	建具表 (1)	○	A-103	家具詳細図 (1)		A-203	植栽計画図 (参考)		S-03	特記仕様書 (その 2-3)	○			
A-004	特記仕様書 (4)		A-044	建具表 (2)	○	A-104	家具詳細図 (2)		A-204	外構詳細図 (1)		S-04	構造関係共通事項 (その1)	○			
A-005	特記仕様書 (5)		A-045	建具表 (3)	○	A-105	家具詳細図 (3)		A-205	外構詳細図 (2)		S-05	構造関係共通事項 (その2)	○			
A-006	特記仕様書 (6)		A-046	建具表 (4)	○	A-106	家具詳細図 (4)		A-206	倉庫詳細図	○	S-06	構造関係共通事項 (その3)	○			
A-007	特記仕様書 (7)		A-047	建具詳細図 (1)		A-107	白板・掲示板 詳細図		A-207	浸透雨水貯留槽 (参考図)		S-07	構造関係共通事項 (その4)	○			
A-008	特記仕様書 (8)		A-048	建具詳細図 (2)		A-108	サインキープラン					S-08	構造関係共通事項 (その5)	○			
A-009	特記仕様書 (9)		A-049	建具詳細図 (3)		A-109	サイン詳細図		A-301	法チェック図 1階	○	S-09	構造関係共通事項 (その6)	○			
A-010	工事区分表		A-050	建具詳細図 (4)		A-110	カーテンレール詳細図		A-302	法チェック図 2階	○	S-10	ボーリング柱状図 (1)	○			
A-011	現況敷地図	○	A-051	建具詳細図 (5)		A-111	西側擁壁詳細図		A-303	法チェック図 3階	○	S-11	ボーリング柱状図 (2)	○			
A-012	敷地求積図	○	A-052	建具詳細図 (6)		A-112	昇降機詳細図 (1) 参考図	○	A-304	日影図	○	S-12	杭伏図	○			
A-013	配置図・案内図・計画概要	○	A-053	建具詳細図 (7) スライディングウォール (SLW-01)	○	A-113	昇降機詳細図 (2) 参考図	○				S-13	基礎伏図	○			
A-014	建築面積・延べ面積 求積表	○	A-054	建具詳細図 (8) (SD-16)		A-114	昇降機詳細図 (3) 参考図	○	A-401	仮設計画図 (参考)		S-14	1階梁伏図	○			
A-015	室別面積表	○	A-055	部分詳細図 (1)		A-115	昇降機詳細図 (4) 参考図	○				S-15	2階梁伏図	○			
A-016	平均地盤面算定・法規チェック	○	A-056	部分詳細図 (2)		A-116	昇降機詳細図 (5) 参考図	○				S-16	3階梁伏図	○			
A-017	仕上仕様書・仕上凡例表・材料表	○	A-057	部分詳細図 (3)		A-117	屋根詳細図 (1) 大屋根					S-17	屋根伏図	○			
A-018	仕上表	○	A-058	部分詳細図 (4)		A-118	屋根詳細図 (2) 屋根					S-18	軸組図 (1)	○			
A-019	ビット図	○				A-119	屋根詳細図 (3) 下屋					S-19	軸組図 (2)	○			
A-020	1階平面図	○				A-120	コート・基礎配置図					S-20	軸組図 (3)	○			
A-021	2階平面図	○				A-121	体育器具図 (1) バスケットゴール					S-21	軸組図 (4)	○			
A-022	3階平面図	○				A-122	体育器具図 (2) 防球ネット					S-22	基礎リスト	○			
A-023	屋根伏図	○				A-123	システム床伏図					S-23	地中梁リスト	○			
A-024	立面図 (1)	○				A-124	システム床詳細図					S-24	柱リスト	○			
A-025	立面図 (2)	○				A-125	システム壁図 (1)					S-25	大梁リスト	○			
A-026	断面図	○				A-126	システム壁図 (2)					S-26	RC大梁、小梁、スラブ、壁リスト	○			
A-027	矩計図 (1)					A-127	システム壁詳細図					S-27	RC雑詳細図	○			
A-028	矩計図 (2)					A-128	料理実習室 平面図 器具表					S-28	鉄骨部材リスト、鉄骨雑詳細図	○			
A-029	矩計図 (3)					A-129	料理実習室 器具詳細図 (1)					S-29	鉄骨架構詳細図	○			
A-030	階段詳細図					A-130	料理実習室 器具詳細図 (2)					S-30	RC架構詳細図	○			
A-031	1階平面詳細図					A-131	料理実習室 器具詳細図 (3)					S-31	中空スラブ標準仕様書	○			
A-032	2階平面詳細図											S-32	2階中空スラブ伏図	○			
A-033	3階平面詳細図											S-33	中空スラブリスト、配筋要領図、断面配筋図	○			
A-034	展開図 (1)											S-34	外構構造図 (1)				
A-035	展開図 (2)											S-35	外構構造図 (2)				
A-036	展開図 (3)																
A-037	展開図 (4)																
A-038	展開図 (5)																
A-039	1階 天井伏図	○															
A-040	2階 天井伏図	○															

一級建築士事務所 東京都登録第4539号

 株式会社 楠山設計
東京都千代田区神田小川町 3-20

意匠設計

一級建築士登録第 301497 号
高橋 徹

構造設計

一級建築士登録第 271669 号
構造設計一級建築士登録第 6676 号
飯屋 園 耕 一

DATE

2025. 03. 31

決
裁
印



TITLE

根岸公民館改築工事

SUBTITLE
図面リスト

APPROVE BY

CHECKED BY

DRAWN BY

SCALE

A1: 1/50

A3: 1/100

DRAWN NO.

設計図 意匠 A - 000

[illegible]

⑨
防水工事

① アスファルト防水

屋根保護防水
防水層の種類

(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～表9.2.6)

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・A-1	2-3階屋上		※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度
・A-2			
○A-3			
・B-1			
・B-2			
・A1-1		(厚さ)	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度
・A1-2		・ mm	
・A1-3			
・B1-1			
・B1-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

(9.2.2)

※標準仕様書 表9.2.3及び表9.2.4による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

・材料構成による区分

・R種

・N種

厚さ

mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

(9.2.2)

※標準仕様書 表9.2.5及び表9.2.6による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

・材料構成による区分

・R種

・N種

厚さ

・ mm以上

押え金物の材質及び形状寸法

(9.2.2)

※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

・

立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置

(表9.2.4)(表9.2.6)

・適用する

・適用しない

屋根露出防水

(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.7)(表9.2.8)

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	
			種類	使用量
・D-1				※製造所の仕様による
・D-2				
・D-3				
・D-4				
・D1-1		(種類)		
・D1-2		(厚さ)		
		・ 25mm		

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

(9.2.2)

※標準仕様書 表9.2.8による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

・材料構成による区分

・R種

・N種

厚さ

・ mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

(9.2.2)

※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による

・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

・材料構成による区分

・R種

・N種

厚さ

・ mm以上

押え金物の材質及び形状寸法

(9.2.2)

※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

・

絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び設置数量

(9.2.3)

種類

※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

・

設置数量

※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

・ 個

屋内防水

(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.9)

防水層の種類

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層

・設ける (※図示

・)

・設けない

E-1の工程3を行う場合の部位

(表9.2.9)

※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位

・

施工

(9.2.4)

防水層の下地のモルタル塗り

(9.2.4)

・適用する (施工範囲

・図示

・)

・適用しない

防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ

(9.2.4)

※標準仕様書 表6.2.4のB種

・

絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

(9.2.4)

・図示による

・

保護層等の施工

(9.2.5)

平場の保護コンクリートの厚さ

(9.2.5)

こて仕上げ

※水下 80mm以上

・

床タイル張り

※水下 60mm以上

・

立上り部の保護工法

(9.2.5)

・乾式保護材

乾式保護材の材料

・

(9.2.2)

・コンクリート押え

・モルタル押え (屋内等)

・れんが押え (・図示

・)

れんがの材料

・JIS R 1250 (普通れんが及び化粧れんが)

(9.2.2)

・

屋上排水溝の設置

(9.2.5)

・図示による

・

2 改質アスファルトシート防水

防水層の種類

(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)(表9.3.3)

種別	施工箇所	断熱材	防湿層	仕上塗料	
				種類	使用量
・AS-T1					※製造所の仕様による
・AS-T2					
・AS-T3					
・AS-T4					
・AS-J1					
・AS1-T1		(種類)	・設ける		
		(厚さ)			
・AS1-J1		・ mm	・設けない		

改質アスファルトシートの種類及び厚さ

(9.3.2)

※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による

・

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

(9.3.2)

※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による

・

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

(9.3.2)

※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による

・

押え金物の材質及び形状寸法

(9.3.2)

※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

・

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

(9.3.3)

種類

※改質アスファルトシートの製造所の指定

・

設置数量

※改質アスファルトシートの製造所の指定

・ 個

防水層の種類

(9.4.2～9.4.4)(表9.4.1～表9.4.2)

種別	施工箇所	可塑性移行防止シートの材質	断熱材	歩行の仕様	仕上塗料	
					種類	使用量
・S-F1				※非歩行用 ・軽歩行用	・	※製造所の仕様による
・S-F2						
・S-M1					・	※製造所の仕様による
・S-M2						
・S1-F1			(種類)		・	※製造所の仕様による
			(厚さ)		・ mm	
・S1-F2			(種類)		・	※製造所の仕様による
			(厚さ)		・ mm	
・S1-M1			(種類)		・	※製造所の仕様による
			(厚さ)		・ mm	
・S1-M2		※発泡ポリエーレンシート				

屋内防水層の種類

(9.4.2～9.4.4)(表9.4.1～表9.4.2)

種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護モルタル塗り厚さ
		平場のモルタル塗り		
		塗厚 (mm)	工法	
・S-G1		・	・床塗り ・下地モルタル塗り	※7mm以下

ルーフィングシートの種類及び厚さ

(9.4.2)

※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による

・

固定金具の材質及び形状

(9.4.2)

材質

※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの

・

厚さ(mm)

※0.4以上

・

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量

(9.4.3)

種類

※ルーフィングシートの製造所の仕様

・

設置数量

※ルーフィングシートの製造所の仕様

・ 個

断熱工法 (S1-M1、S1-M2の場合)の防湿用フィルム

(表9.4.2)

・設置する

・設置しない

接着工法の場合のP Cコンクリート部材防水下地の目地処理

(9.4.4)

・行う (・図示

・)

・行わない

P Cコンクリート下地の入隅部の増張り

(9.4.4)

(S-F1、S1-F1の場合)

・行う (・図示

・)

・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

(9.4.4)

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

・図示による

・

防水層の種類

(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施工箇所	仕上塗料		保護層
		種類	使用量	
・X-1		・	※製造所の仕様による	
○X-2	消火水槽 雨水貯留槽	・	※製造所の仕様による	
・Y-1	・地下外壁防水			
・Y-2	・屋内防水			

ウレタンゴム系塗膜防水 X-1 (絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量

(9.5.3)

種類

※主材料の製造所の仕様

・

設置数量

※主材料の製造所の仕様

・ 個

④ 塗膜防水

防水層の種類

(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施工箇所	仕上塗料		保護層
		種類	使用量	
・X-1		・	※製造所の仕様による	
○X-2	消火水槽 雨水貯留槽	・	※製造所の仕様による	
・Y-1	・地下外壁防水			
・Y-2	・屋内防水			

ウレタンゴム系塗膜防水 X-1 (絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量

(9.5.3)

種類

※主材料の製造所の仕様

・

設置数量

※主材料の製造所の仕様

・ 個

⑤ ケイ酸質系塗布膜防水

防水層の下地 (壁及び天井)

(9.6.4)

※コンクリート打放し仕上げ (標準仕様書 表6.2.4のB種)

・

下地処理

(9.6.4)

コンクリートの打継箇所の処理

※標準仕様書9.6.4(2)(7)による

・

標準仕様書9.6.4(2)(i)及び(7)以外の下地処理

・図示による

・

材料

(9.7.2)

種類及び施工箇所

※下表以外は、標準仕様書 表9.7.1による

ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による。

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)

仕上げを行わない施工箇所 ()

シーリング材の目地寸法

(9.7.3)

※標準仕様書9.7.3(1)による

・

接着性試験

(9.7.5)

※簡易接着性試験

・引張接着性試験

・

⑥ シーリング

1 施工

(10.1.3)

石材の割付け

・図示による

・

2 石材等

(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

天然石

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法	表面仕上の種類	バフ仕上げの有無	備考
	・	・図示による			

テラズブロック

(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	表面仕上の種類	備考
	※大理石	※1.5～12	・平もの	・片面			
	・花こう岩	・	・役もの	・両面			

テラズタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分 (mm)	表面仕上の種類	備考
	※大理石	※1.5～12	・300×300		
	・花こう岩	・	・400×400		

取り付用モルタル、既調合の目地用モルタル、浸透性吸水防止剤、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料

※専門工事業者の指定する製品

・

(10.2.3)

受金物

材質

※ステンレス (SUS304) 製

・

形状及び寸法

※ L-75×75×6 (mm)

(・長さ=100mm

・長さ=150mm)

・

(10.2.2)

アンカーの材質及び寸法

材質：※SS400

・

寸法：

あと施工アンカーの種類、材質及び寸法

種類：

材質：

寸法：

上記以外の金物の材質、形状及び寸法

・図示による

・

(10.2.3)

ドレンパイプの材質

・樹脂ネット製パイプ

クロスメッシュ巻き

25～35φ

・

石材の厚さ (mm)

・

(10.3.2)

石裏面処理

・適用する

・適用しない

裏打ち処理

・適用する

・適用しない

下地ごしらえ

※あと施工アンカー・横筋流し工法

・流し防工法

・あと施工アンカー工法

目地

一般目地

目地幅 (mm)

※6以上

・

(10.3.3)

シーリング材

・適用する

・適用しない

伸縮調整目地

位置

※標準仕様書 表11.1.1iによる

・図示による

シーリング材の目地寸法

※幅・深さとも10mm以上

・図示による

(10.4.2)

石材の厚さ (mm)

・

(10.4.2)

石裏面処理

・適用する

・適用しない

裏打ち処理

・適用する

・適用しない

下地ごしらえ

※あと施工アンカー・横筋流し工法

・あと施工アンカー工法

(10.4.3)

10 石工事

6 床及び階段の石張り

(10.6.2)(10.6.3)(10.6.2)

石材の厚さ (mm)

床 ()、階段 ()

(10.6.2)(10.6.3)

床石張り

浸透性吸水防止剤

・適用する

・適用しない

石裏面処理

・適用する

・適用しない

裏打ち処理

・適用する

・適用しない

(10.6.3)

階段張り

石裏面処理

・適用する

・適用しない

(10.6.2)(10.6.3)

目地

一般目地

目地幅 (mm)

※8以上

・

(10.5.3)

シーリング材

・適用する

(※標準仕様書9.7iによる

・図示)

・適用しない

石材の厚さ (mm)

床 ()、階段 ()

(10.6.2)(10.6.3)

床石張り

浸透性吸水防止剤

・適用する

・適用しない

石裏面処理

・適用する

・適用しない

裏打ち処理

・適用する

・適用しない

(10.6.3)

階段張り

石裏面処理

・適用する

・適用しない

(10.6.2)(10.6.3)

目地

一般目地

目地幅 (mm)

・図示による

・

シーリング材

・適用する

・適用しない

伸縮調整目地

位置

※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他部材との取り合い部

・図示による

シーリング材の目地寸法

※幅・深さとも10mm以上

・図示による

7 笠木、甲板等の石張り

(10.7.2)(10.2.2)

取付け工法

・湿式工法

・乾式工法

湿式工法の取付け金物

・標準仕様書10.2.2(1)による

・図示による

乾式工法の取付け金物

・標準仕様書10.2.2(2)による

・図示による

方式・スライド方式

・ロックキング方式

・標準仕様書10.2.2(3)による

・図示による

特殊部位用金物

・図示による

ファスナー

アンカーの材質及び寸法

(10.2.2)

湿式工法の材質：※ステンレス (SUS304) 製

・

寸法：

乾式工法の材質：※SS400

・

寸法：

あと施工アンカーの種類、材質及び寸法

種類：

材質：

寸法：

上記以外の金物の材質、形状及び寸法

・図示による

・

石材の厚さ (mm)

・

(10.7.2)

石裏面処理

・適用する

・適用しない

乾式工法の場合の取付け代

※標準仕様書10.5.3(2)による

石裏の補強用モルタル

・適用する

・適用しない

目地

湿式工法の場合

一般目地

目地幅 (mm)

※6以上

・

(10.3.3)

シーリング材

・適用する

・適用しない

伸縮調整目地

位置

※標準仕様書 表11.1.1iによる

・図示による

シーリング材の目地寸法

※幅・深さとも10mm以上

・図示による

乾式工法の場合

目地幅 (mm)

※8以上

・

(10.5.3)

シーリング材

・適用する(※標準仕様書9.7iによる

・図示)

・適用しない

石材の厚さ (mm)

※40

・

(10.7.3)

一級建築士事務所 東京都登録第4539号

 株式会社 楠山設計
東京都千代田区神田小川町3-20

意匠設計

一級建築士登録第 301497 号
高 橋 徹

構造設計

一級建築士登録第 271669 号
構造設計一級建築士登録第 6676 号
飯 屋 園 耕 一

DATE
2025.03.31

決
裁
印



TITLE
根岸公民館改築工事

SUBTITLE
特記仕様書(4)

APPROVE BY

CHECKED BY

DRAWN BY

SCALE
A1:-
A3:-
DRAWN NO.
設計図 意匠 A - 004

⑪
タイル工事

①伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

②見本焼、試験施工

③セメントモルタルによるタイル張り

④有機系接着剤によるタイル張り

位置 ※標準仕様書 表11.1.1による
・図示による

見本焼き ・行う ○行わない
試験張り ・行う ○行わない

タイルの形状、寸法等 (11.2.2) (11.2.3) (11.2.6)

施工箇所	種類	形状寸法 (mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑備考		
I類	II類	III類	IV類	無	有	無	標準	特注	有	無
1階:1階、風除室床	高寒間板タイル	300角	・	・	○	・	○	・	○	○
2階:屋外1階、風除室床	高寒間板タイル	300角	・	・	○	・	○	○	・	○
			・	・	・	・	・	・	・	・

既調合モルタル
○既調合モルタルの製造所の仕様による
・

下地モルタル塗りのコンクリート素地面の地下処理方法
・目荒し工法（標準仕様書15.3.4(4)による）
・MOR工法（標準仕様書6.8による）
・

壁タイル張りの工法 (表11.2.3)
内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

タイルの形状、寸法等 (11.3.2～11.3.4) (11.3.7)

施工箇所	種類	形状寸法 (mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑備考		
I類	II類	III類	IV類	無	有	無	標準	特注	有	無
1階:トイレ壁	多孔質タイル	200×150	・	・	○	・	○	・	○	○
			・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
・

外装タイルにおける目地詰め
・行う ・行わない

目地のシーリング材 (11.3.4)
打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材
伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材
その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材

下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の地下処理方法
・目荒し工法（標準仕様書15.3.4(4)による）
・MOR工法（標準仕様書6.8による）
・

⑫
木工事

①施工一般

②製材

③造作用集成材

ホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書12.12.1(7)のいずれかによる
・

・「製材の日本農林規格」による下地用製材 (12.2.1) (表12.2.1)

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
		※2級	※A種 ・B種	
		※2級	※A種 ・B種	

○「製材の日本農林規格」による造作用製材 (12.2.1) (表12.2.1)

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面	米ツガ	※上小節	※A種 ・B種	
見え掛り面以外		※小節以上	※A種 ・B種	
			※A種	

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 (12.2.1) (表12.2.1)

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
		※1等	※10%以下 ・A種 ・B種	
		※1等	※10%以下	

・「製材の日本農林規格」以外の製材 (12.2.1) (表12.2.2) (12.2.3)

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	含水率	防虫処理
		(造作材の場合 (※A種 ・B種)	※A種 ・B種	・行う ・行わない
		(造作材の場合 (※A種 ・B種)	※A種 ・B種	・行う ・行わない

○「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
図示による		タモ	図示による	タモ	※1等 ・2等
図示による		スギ	図示による	スギ	※1等 ・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 (12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板: 芯材:				※1等 ・2等
		化粧薄板: 芯材:				※1等 ・2等

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 (12.2.1)

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)
				※15以下 ・
				※15以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 (12.2.1)

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板: 芯材:				※15以下 ・
	化粧薄板: 芯材:				※15以下 ・

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 (12.2.1) (12.3.1)

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質 (表面の化粧加工)	防虫処理
			・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・行う ・行わない
			・無し (等級: ・1等 ・2等 ・3等)	

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 (12.2.1) (12.3.2)

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質 (表面の化粧加工)	含水率	防虫処理
		・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14%以下 ・	・行う ・行わない
		・無し ()		

・C L T（直交集成板） (12.2.1)

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)

・「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1) (12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
		※5.5		※1類 広葉樹 ・1等 ※2等以上		・行う ・行わない
		・		・2類 針葉樹 ※0-0以上		

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 (12.2.1) (12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	板面の品質	保存処理	防虫処理	強度等級
		※12	・1級		・		・行う	
		・	※2級以上		※0-0以上		・行わない	
		※12	・1級		・適用する		・行う	
		・	※2級以上				・行わない	

接着の程度 常温湿潤状態となる場所での使用
※特類
・
その他の場合
※1類以上

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 (12.2.1) (12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・1類	・行う
				・特類	・行わない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 (12.2.1) (12.3.2)

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・行う ・行わない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 (12.2.1) (12.3.2)

施工箇所	品目	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			・1類 ・2類		・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・行う ・行わない

・パーティクルボード (12.2.1)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ	※MR1 (M) 又はMR2 (P) タイプ		※15
		・	・		・

○構造用パネル (12.2.1)

施工箇所	品名	寸法 (mm)
体育館床下地	ラウン 構造用合板F☆☆☆☆	t=15

・MDF (12.2.1)

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

⑬
屋根及びとい工事

①長尺金属板葺

2 折板葺

3 粘土瓦葺

④とい

⑤ルーフドレイン

造作材の化粧面の釘打ち
・適用する (※隠し釘打ち ・) ○適用しない
諸金物の形状、寸法及び材質 (12.2.2) (表12.2.3～表12.2.5)
※標準仕様書12.2.2(2) (7)による
接着剤 (木れんが用接着を含む) のホルムアルデヒド放散量 (12.2.2) (12.2.3)
※F☆☆☆☆
・

・薬剤による防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 (12.3.1)
適用部材: ()

・工場における薬剤の加圧注入処理による防腐・防蟻処理 (12.3.1)
適用部材

	保存処理性能区分
	・K 2 ・K 3 ・K 4
	・K 2 ・K 3 ・K 4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 (12.3.1)
適用部材

	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による	・
	・	・

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 (12.3.1)
適用部材: ()

・合板等の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理 (12.3.1)
適用部材: ()

※（製材を用いる場合）杉又は松 ・ (12.4.1)
・

※（製材を用いる場合）杉又は松 ・ (12.4.1)
・

※（製材を用いる場合）吊元枠、水掛りの下枠及び敷居は、ひのき、その他は、松又は杉 (12.5.1)
・

※（製材を用いる場合）ひのき ・ (12.6.1)
・

※（製材を用いる場合）杉又は松 ・ (12.7.1)
・

材料 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性の種類、めっき付着量等	厚さ (mm)	屋根葺き形式	葺板の寸法・厚さ	下地	留め付け方法
屋根底	※JIS G 3322の屋根用コイル ○7A:押出成形材	フッ素焼付塗装	t=1.2	・立て平葺 ・心木なし ・瓦葺葺 ・横葺 ○横段葺	働き巾 250	硬質木片 w/板	ビス止め

下葺材料 ・アスファルトルーフィング940
○改質アスファルトルーフィング下葺材
・一般タイプ
・複層基材タイプ
○粘着層付タイプ t=1.1

工法 (13.2.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による
・
横葺の場合のけらば納め
・つかみ込み納め
○けらば包み納め
雪止め ○設置する ○図示 ・)

材料 (13.3.2) (表13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山びつぎによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先面戸板
	・	山高 山びつぎ	() 種	※鋼板製		・有り ・無し

材質の種類 ()
塗膜の耐久性の種類、つき付着量等 ()
断熱材 ・有り (種別: 厚さ (mm): 防火性能: 時間)
・無し

工法 (13.3.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による
・
耐雪性能に応じた工法
・適用する (・図示 ・) ○適用しない
折板のけらば納め ※けらば包みによる方法 ・

材料 (13.4.2)

施工箇所	種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦

JIS A 5208 に基づく凍害試験 ・行う ・行わない
瓦桟木 材質 ※杉
寸法 ※幅21×高さ15 (mm) 以上
・
棟補強用心材 材質 ※杉
寸法 ※幅40×高さ30 (mm) 以上
・
瓦緊結用釘又はねじの種類
径
長さ
・
棟補強等に使用する金物等 材質 ・ステンレス製
・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状
寸法
留め付け方法 ・

工法 (13.4.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法などの工法
風圧力 ・図示による
・
地震力 ・図示による
・
・適用しない
瓦緊結用釘又はねじの有効長さの最小値 () mm
瓦桟木の留付け工法 ・図示による
・
棟の工法 ・7寸丸伏せ棟又はF型用冠瓦伏せ棟
・のし積み様
・
面戸、省口、葺土の露出する瓦接合部に仕上りを施す場合
・モルタルによる ・瓦葺き用しっくいによる

材料 (13.5.2) (表13.1.1)

といの材種 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管
○ステンレス製
・表面処理鋼板
・表面及び裏面の塗膜の種類 ()
・耐酸被覆鋼板 ・

とい受金物
とい受金物の材種、形状、取付け間隔
※標準仕様書 表13.5.2による
・
足金物の材種、形状、取付け間隔
※標準仕様書 表13.5.2による
・
・多雪地域の場合の軒どいの取付間隔0.5m以下
・図示による

防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・

工法 (13.5.3)
・鋼管製といの場合の防露巻きの工法
※標準仕様書 表13.5.4による
・

JOW 301によるルーフドレインの種類及び呼び (13.5.2)

○ろく屋根用たて形I型	ねじ込み式	呼 び	施工箇所
○ろく屋根用横形I型	ねじ込み式	○ φ75、100	図示による
・バルコニー中継用	・ねじ込み式 ・差し込み式	・	図示による
○バルコニー用	・ねじ込み式 ○差し込み式	○ φ75、100	図示による
・	・	・	

一級建築士事務所 東京都登録第4539号

 株式会社 楠山設計

東京都千代田区神田小川町3-20

意匠設計

構造設計

一級建築士登録第 301497 号
高 橋 徹

一級建築士登録第 271669 号
構造設計一級建築士登録第 6676 号
飯 屋 園 耕 一

DATE

2025.03.31

決裁印



TITLE

根岸公民館改築工事

SUBTITLE

特記仕様書(5)

APPROVE BY

CHECKED BY

DRAWN BY

SCALE

A1:-
A3:-

DRAWN NO.

設計図 意匠 A-005

⑭

金属工事

①

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

表面処理

(14.2.1)(表14.2.1)

種 別	施工箇所（成型板、笠木、建具以外）	色合い等
・AB-1種		
・AB-2種		
・AC-1種		
・AC-2種		
・BA-1種		
○BA-2種	目隠しRﾊﾞｰ、梁型ｱﾈﾙ水切	二次電解着色
・BB-1種		
・BB-2種		
・BC-1種		
・BC-2種		
・C種		

・常温乾燥形の塗装の場合（ ）

陽極酸化皮膜の着色方法 (14.2.1)
※二次電解着色 ・三次電解着色

鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種 別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	○A種	目隠しRﾊﾞｰ-下地鉄骨、金物
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

②

鉄鋼の亜鉛めっき

③

軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 (14.4.2)(表14.4.1)

屋外 ※Z5型 ・19型

屋内 ※19型 ・25型

・屋外の場合の形式及び寸法

野縁受、つりボルト、インサートの間隔及び周辺部端からの距離

・図示による ・

野縁の間隔

・図示による ・

工法

・つりボルトの間隔が900mmを超える場合

補強方法 ・図示による ・

・天井のふとところが3.0mを超える場合

補強方法 ・図示による ・

○天井下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所、補強方法 ・図示による ○官庁施設の落下防止性能のある天井(B類)対応

・屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強

補強箇所、補強方法 ・図示による ・

④

軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 (14.5.3)

※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

・図示による

スタッドの高さが5.0mを超える場合

・図示による ・

出入口及びこれに準ずる開口部の補強

※標準仕様書14.5.4(5)による ・図示による

5

金属成形板張り

種別

・図示による ・

表面処理

・図示による ・

取付け用下地 (14.6.3)

※標準仕様書14.4による ・図示による

伸縮調整継手 ・設ける（施工箇所 ・図示 ・） (14.6.3)

・設けない

⑥

アルミニウム製笠木

部材の種類 (14.7.2)(表14.7.1)

種類 ○Z50形 ・300形 ・350形

表面処理 種別（ ）種 (14.7.2)(表14.2.1)

色合等 ○標準色（ 二次電解着色 ）

・特注色（ ）

笠木の固定金具の工法等

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

・図示による ・

⑮

左官工事

1

ラス系下地

下地の種類 (15.2.4)

・通気工法（ ・二層下地 ・単層下地 ）

・直張り工法（ ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地 ）

・図示による（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気工法を行う場合） (15.2.4)

材料

ラス材及び補強用平ラス

材料記号（※K ・）

種類及び単位面積当たりの質量

・二層下地通気構法

・波形ラス（W700） ・こぶラス（K800） ・力骨付きラス（BP700）

・単層下地通気構法

・リプラスC（RC800）にターボン紙などの裏打ち材と一体化したラス ・

ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分

※LS4（耐力壁の場合） ・

ステーブルの形状及び寸法

リプラス

※L925TS以上（リプラスC（RC800）の場合） ・

波形ラス

※L1019JS以上（波形ラス（W700）の場合） ・

②

せつこうボード、その他のボード下地

材料

せつこうボード、せつこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ

せつこうボード 種類（ ） 厚さ（ mm）

せつこうラスボード 種類（ ） 厚さ（ mm）

木質系セメント板 種類（ ） 厚さ（ mm）

③

こまい下地

材料

木ずり用小幅板の材種 ※杉（心去り材） ・

④

木ずり下地

モルタル

・現場調合材料 ・既調合材料 (15.3.2)

既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（ ・図示 ・） (15.3.2)

・設けない

床の目地 (15.3.5)

・設ける 目地割 ※2㎡程度（最大目地間隔3m程度） ・

種類 ※押し目地 ・

・設けない

外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験

・行う ・行わない

⑤

モルタル塗り

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (15.6.2)

※F☆☆☆☆ ・

⑥

仕上塗材仕上げ

材料

（表15.6.1）（その1）

呼び名	仕上げる形状	工 法	吸放湿性	防火材料
・外装厚塗材Si	・砂壁状	・吹付け	・適用する	・適用する
	・ゆず肌状	・ローラー塗り	・適用しない	・適用しない
	・さざ波状			
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状	・吹付け	・適用する	・適用しない
	・ゆず肌状	・ローラー塗り	・適用しない	・適用しない
	・さざ波状			
○外装薄塗材E	○砂壁状	・吹付け	○適用する	○適用しない
	・ゆず肌状	・こて塗り		
	・凹凸状	○ローラー塗り		
	・さざ波状			
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け	・適用する	・適用しない
	・ゆず肌状	・こて塗り		
	・平たん状	・ローラー塗り		
	・凹凸状			
	・さざ波状			
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	・適用しない
	・さざ波状	・ローラー塗り		
	・凹凸状			
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・適用する	・適用しない
・内装薄塗材C	・凹凸状	・吹付け	・適用する	・適用する
・内装薄塗材L	・平たん状	・こて塗り	・適用しない	・適用しない
	・ゆず肌状	・ローラー塗り		
	・さざ波状			
・内装薄塗材Si	○砂壁状じゅらく	・吹付け	○適用する	・適用する
○内装薄塗材E	・ゆず肌状	○こて塗り	・適用しない	○適用しない
	・平たん状	・ローラー塗り		
	・凹凸状			
	・さざ波状			
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく	・吹付け	・適用する	・適用する
	・ゆず肌状	・こて塗り	・適用しない	・適用しない
	・平たん状			
	・凹凸状			

⑦

マスチック塗材塗り

7

マスチック塗材塗り

7

マスチック塗材塗り

種類

・A種 ・B種 (15.7.2)(表15.7.1)

⑧

しっくい塗り

下地の種類（ ） (15.10.1)

・標準仕様書15.10.11による場合以外の下地への適用 （ ）

材料 (15.10.2)

・標準仕様書15.10.2(1)(7)、(4)による色しっくい ・適用する ・適用しない

調合及び塗厚 (15.10.3)(表15.10.1～表15.10.4)

既調合しっくい ※標準仕様書15.10.3(1)による ・

現場調合しっくい ※標準仕様書15.10.3(2)による ・

既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 (15.10.4)(表15.10.5)

・なで切り仕上げ ・パターン仕上げ

⑨

こまい壁塗り

材料 (15.11.2)

土壁用のりのり種類 ※つのまた ・ふのり ・ぎんなんそう ・粉末海藻

砂壁用のりのり種類 ※ふのり ・つのまた ・こんにゃくのり ・にかわ

・合成高分子系混和剤

色土の種類 ・土物仕上げ（ ）

・大津仕上げ（ ）

色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂

・人工的に着色・製造したもの

調合 下塗りの調合 ※標準仕様書表15.11.2による ・ (15.11.3)

塗厚 ※標準仕様書表15.11.8による ・ (15.11.4)

・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合

・図示による ・

工程 こまい壁 ※A種 ・B種 (15.11.5)(表15.11.9)

土物仕上げの工法 (15.11.7)

・土物仕上げ工法

・水こね土物1工法 ・水こね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法

・砂壁仕上げ工法

・切返し仕上げ工法

大津仕上げの工法 (15.11.8)

・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき工法

ちりじゃくり ・図示による ・ (15.11.7)(15.11.8)

⑩

ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 (15.12.2)

※F☆☆☆☆ ・

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆ ・

吹付け厚さ（mm） ・図示による ・ (15.12.3)

⑯

建具工事

①

防火戸

※建具表による ・ (16.1.3)

・防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、連動させる装置等

・建具表による ・

②

見本の製作等

建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） (16.1.4)

○行わない

特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ） (16.1.4)

○行わない

③

防犯建物部品

・適用する（ 適用箇所 ・建具表による ・） (16.1.6)

○適用しない

④

アルミニウム製建具

性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による） (16.2.2)

耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級

・建具表による ・図示による ○ S-4、A-4、W-4

外部に面する建具の種類

※標準仕様書 表16.2.1、表16.2.2による

○A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種

・

・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ）

・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ）

表面処理 (16.2.4)

外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 ○BA-2

着色 ○標準色 ・特注色 (表14.2.1)

屋内の建具 (表14.2.1)

種別 ・BB-1種 ・BB-2種

着色 ・標準色 ・特注色

ステンレス鋼板の種類 (16.2.3)(16.6.3)

※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・

ステンレス製くつづりの仕上げ (16.2.4)(16.6.4)

※H L ・

結露水の処理方法 ○図示による ・ (16.2.4)

水切り板、ぜん板 ○図示による ・ (16.2.5)

木下地の内付け建具 ・適用する（建具の製造所の仕様） ・適用しない (16.2.5)

⑤

網戸等

防虫網の材料 (16.2.3)

種 類	材 種	線 径	網 目	
○防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16～18メッシュ	
	○ガラス繊維入り合成樹脂製			・
	・ステンレス（SUS316）製			・

6

樹脂製建具

性能値等（建具符号、枠の見込み寸法は建具表による） (16.3.2)

耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級

・建具表による ・

外部に面する建具の種類

※標準仕様書 表16.3.1、表16.3.2による

・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種

・

・防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級

・T-1種 ・T-2種

・断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級

※外部に面する建具は標準仕様書 表16.3.3による（等級、 ）

・

外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・

ガラス ※複層ガラス ・ (16.3.3)

ステンレス製くつづりの仕上げ (16.3.4)(16.4.4)

※H L ・

表面色 ・標準色 ・特注色 (16.3.4)

水切り板、ぜん板 ・図示による ・ (16.3.5)(16.2.5)

木下地の内付け建具 ・適用する（建具の製造所の仕様） ・適用しない (16.3.5)(16.2.5)

⑦

鋼製建具

性能値等（建具符号は建具表による） (16.4.2)

簡易気密型ドアセットの気密性等級、水密性等級

○標準仕様書 表16.4.1による ・建具表による

外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1による）

○S-4 ○S-5 ○S-6

・耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級（ ・ ）

○防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ○ T-2 ）

・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ）

ステンレス鋼板の種類 (16.4.3)(16.6.3)

※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・

点検口の類のくつづりの材料 ・ (16.4.3)

鋼板類の厚さ（mm） (16.4.4)

※標準仕様書 表16.4.2による ・

ステンレス製くつづりの仕上げ ※H L ・ (16.4.4)

標準型鋼製建具の有効内法寸法（表16.4.5による） (16.4.6)

・適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）

⑧

鋼製軽量建具

性能値等（建具符号は建具表による） (16.5.2)

簡易気密型ドアセットの気密性等級

・A-3 ・建具表による

・耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級（ ・ ）

・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ・ ）

・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ・ ）

鋼板の種類 (16.5.3)

・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ○カラー鋼板 ・ステンレス鋼板

召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ (16.5.3)

鋼板の厚さ（mm） ※標準仕様書 表16.5.1による ・図示による (16.5.4)

ステンレス製くつづりの仕上げ ※H L ・ (16.5.4)(16.4.4)

標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法（表16.4.5による） (16.5.6)

・適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）

建具の自閉装置

○ソフトクローズ機能付き

一級建築士事務所

東京都登録第4539号

株式会社

楠山設計

東京都千代田区神田小川町3-20

意匠設計

一級建築士登録第 301497 号

高 橋 徹

構造設計

一級建築士登録第 271669 号

構造設計一級建築士登録第 6676 号

飯 塚 蘭 耕 一

DATE

2025.03.31

決 裁 印

川口市

-7.5.12-

建築課

TITLE

根岸公民館改築工事

SUBTITLE

特記仕様書(6)

APPROVE BY

CHECKED BY

DRAWN BY

DRAWN NO.

設計図

意匠

A - 006

16 建具工事 （ 続 き ）	⑨ ステンレス製建具	性能値等（建具符号は建具表による） 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・建具表による 外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1による） ○S-4 ・S-5 ・S-6 ・耐震ドアとする場合 面変形追随性の等級（ ） ・防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級（ ） ・断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（ ） ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 （16.6.3） 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ （16.6.4） ステンレス鋼板のくつづりの仕上げ ※H L （16.6.4）（16.4.4） ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ○角出し曲げ （16.6.5） 建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・B種 （16.7.2）（表16.7.1） 接着材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ （16.7.2） 枠、くつづりの材料 ・建具表による （16.7.2） ○フラッシュ戸 （16.7.2）（表16.7.2） <table><tr><th>合板の種類</th><th>表面材の品質等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>○普通合板</td><td>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）</td><td></td></tr><tr><td>・天然木化粧合板</td><td>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）</td><td></td></tr><tr><td>・特殊加工化粧合板</td><td>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）</td><td></td></tr><tr><td>・ミディアムデンシティ ファイバーボード （MDF）</td><td>表表面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）</td><td></td></tr></table> 表面材の材料のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書16.7.2(4)(a)による 表面板の厚さ ※表16.7.6による 引戸の定規縁 ・召し合せかまちをいろう付きとする ・かまち戸 （16.7.2）（16.7.3）（表16.7.7） かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ） 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ○ふすま （16.7.2）（表16.7.3）（16.7.3）（表16.7.7）（16.7.4）（表16.7.10） 種別、工法 ○I 型 ○II 型 上張り ・鳥の子 縁仕上 ○塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・戸ぶすま （16.7.2）（16.7.3）（表16.7.7）（16.7.4） 表面材の種類、品質等（ ） 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子（ワロ張り） （16.7.3）（表16.7.7） 見込み寸法 ※30mm ・建具表による	合板の種類	表面材の品質等	備 考	○普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）		・天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）		・特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）		・ミディアムデンシティ ファイバーボード （MDF）	表表面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）		⑩ 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・B種 （16.7.2）（表16.7.1） 接着材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ （16.7.2） 枠、くつづりの材料 ・建具表による （16.7.2） ○フラッシュ戸 （16.7.2）（表16.7.2） <table><tr><th>合板の種類</th><th>表面材の品質等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>○普通合板</td><td>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）</td><td></td></tr><tr><td>・天然木化粧合板</td><td>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）</td><td></td></tr><tr><td>・特殊加工化粧合板</td><td>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）</td><td></td></tr><tr><td>・ミディアムデンシティ ファイバーボード （MDF）</td><td>表表面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）</td><td></td></tr></table> 表面材の材料のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書16.7.2(4)(a)による 表面板の厚さ ※表16.7.6による 引戸の定規縁 ・召し合せかまちをいろう付きとする ・かまち戸 （16.7.2）（16.7.3）（表16.7.7） かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ） 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ○ふすま （16.7.2）（表16.7.3）（16.7.3）（表16.7.7）（16.7.4）（表16.7.10） 種別、工法 ○I 型 ○II 型 上張り ・鳥の子 縁仕上 ○塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装） 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・戸ぶすま （16.7.2）（16.7.3）（表16.7.7）（16.7.4） 表面材の種類、品質等（ ） 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子（ワロ張り） （16.7.3）（表16.7.7） 見込み寸法 ※30mm ・建具表による	合板の種類	表面材の品質等	備 考	○普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）		・天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）		・特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）		・ミディアムデンシティ ファイバーボード （MDF）	表表面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）																																																																																														
	合板の種類	表面材の品質等	備 考																																																																																																																												
	○普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）																																																																																																																													
	・天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）																																																																																																																													
	・特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）																																																																																																																													
	・ミディアムデンシティ ファイバーボード （MDF）	表表面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）																																																																																																																													
	合板の種類	表面材の品質等	備 考																																																																																																																												
	○普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）																																																																																																																													
	・天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）																																																																																																																													
	・特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）																																																																																																																													
・ミディアムデンシティ ファイバーボード （MDF）	表表面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）																																																																																																																														
⑪ 建具用金物	金物の種類・見え掛り部の材質等 （16.8.2） ※標準仕様書表16.8.1及び適用（備考欄の特記事項も含め）は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.4による 木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書表16.8.5による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ○建具表による	⑫ 鍵 マスターキー ○製作する ・製作しない 鍵の製作本数 ※各室3本組	⑬ 自動ドア開閉装置 戸の開閉方式 ○図示による 自動ドア開閉装置の性能値 （16.9.2） 駆動装置の性能 （16.9.2） ※引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書 表16.9.1による 防錆の適用 ○適用する ・適用しない ・ 車椅子使用者用便所出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※標準仕様書 表16.9.2による 防錆の適用 ・適用する ・適用しない ・ 検出装置の性能 ※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書 表16.9.3による 防錆の適用 ○適用する ・適用しない ・ 引き戸用検出装置の種類は標準仕様書 表16.9.4による 種類 ○光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ （ ・無線式タッチスイッチ ・光電式タッチスイッチ） ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者用便所スイッチ （ ・大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ） 凍結防止措置 （16.9.2） ○適用する ・適用しない																																																																																																																												
⑭ 鍵	マスターキー ○製作する ・製作しない 鍵の製作本数 ※各室3本組	⑮ 自動ドア開閉装置 戸の開閉方式 ○図示による 自動ドア開閉装置の性能値 （16.9.2） 駆動装置の性能 （16.9.2） ※引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書 表16.9.1による 防錆の適用 ○適用する ・適用しない ・ 車椅子使用者用便所出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※標準仕様書 表16.9.2による 防錆の適用 ・適用する ・適用しない ・ 検出装置の性能 ※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書 表16.9.3による 防錆の適用 ○適用する ・適用しない ・ 引き戸用検出装置の種類は標準仕様書 表16.9.4による 種類 ○光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ （ ・無線式タッチスイッチ ・光電式タッチスイッチ） ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者用便所スイッチ （ ・大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ） 凍結防止措置 （16.9.2） ○適用する ・適用しない	⑯ 自動ドア開閉装置 戸の開閉方式 ○図示による 自動ドア開閉装置の性能値 （16.9.2） 駆動装置の性能 （16.9.2） ※引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書 表16.9.1による 防錆の適用 ○適用する ・適用しない ・ 車椅子使用者用便所出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※標準仕様書 表16.9.2による 防錆の適用 ・適用する ・適用しない ・ 検出装置の性能 ※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書 表16.9.3による 防錆の適用 ○適用する ・適用しない ・ 引き戸用検出装置の種類は標準仕様書 表16.9.4による 種類 ○光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ （ ・無線式タッチスイッチ ・光電式タッチスイッチ） ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者用便所スイッチ （ ・大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ） 凍結防止措置 （16.9.2） ○適用する ・適用しない																																																																																																																												
⑮ 重量シャッター	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・図示による シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッター 耐風圧強度（ ）pa 開閉方式の種類（標準仕様書 表16.11.1） ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置の設置箇所 （16.11.2） 急降下制御装置又は急降下停止装置の設置箇所 ・図示による 障害物感知装置の設置箇所 ・図示による 危害防止機構の設置箇所 ・図示による 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 （16.11.3） 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ステンレス鋼板の種類 （16.11.3）（16.6.3） ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 16 軽量シャッター （16.12.2）（表16.12.1） 開閉形式 ※手動式 ・電動式（手動併用） 耐風圧強度（ ）pa 電動式の場合の安全装置 障害物感知装置の設置箇所 ・図示による スラットの材質の種類 （16.12.3） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっき付着量 ※Z06又はF06 ・JIS G 3322（塗装溶融55％アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっき付着量 ※AZ90 スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバラッピング形 （16.12.4） 17 オーバーヘッドドア （16.13.2）（16.13.3） <table><tr><th>区分、材料</th><th>耐風圧 による区分</th><th>開閉方式 による区分</th><th>収納形式 による区分</th><th>ガイドレールの材質</th></tr><tr><td>セクション材料 による区分</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラス タイプ</td><td>・125 ・100 ・75 ・50</td><td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td><td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形</td><td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板</td></tr></table> 電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所 ・図示（ ） 適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による。（16.14.2） ○フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類 ○図示（※建具表 ）による ○型板ガラスの厚さによる種類 ○図示（※建具表 ）による ○網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類 ○図示（※建具表 ）による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類 ・図示（※建具表 ）による ○強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称（呼び厚を含む）、特性による種類 ○図示（※建具表 ）による ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類 ・図示（※建具表 ）による ○複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性及び日射遮蔽性による区分、乾燥気体の種類 ○図示（※建具表 ）による ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射熱遮へい性及び耐久性による区分 ・図示（※建具表 ）による ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類 ・図示（※建具表 ）による ガラスの留め材及び溝の大きさ （16.14.2）（16.14.3）（図16.14.1） <table><tr><th>建具の種類</th><th>ガラス留め材</th><th>ガラス溝の大きさ(mm)</th></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>樹脂製</td><td>・建築用ガasket ・グレイジングビード</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr></table> ガラスの留め材及び溝の大きさ （16.14.2）（16.14.3）（図16.14.1） <table><tr><th>建具の種類</th><th>ガラス留め材</th><th>ガラス溝の大きさ(mm)</th></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>樹脂製</td><td>・建築用ガasket ・グレイジングビード</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr></table> ⑯ ガラス	区分、材料	耐風圧 による区分	開閉方式 による区分	収納形式 による区分	ガイドレールの材質	セクション材料 による区分					※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラス タイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・	樹脂製	・建築用ガasket ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・	樹脂製	・建築用ガasket ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・	18 ガラスブロック積み 材料等 （16.14.5） <table><tr><th rowspan="2">表面形状</th><th rowspan="2">呼び寸法 (mm)</th><th rowspan="2">厚さ (mm)</th><th rowspan="2">色 調 クリア 乳白</th><th colspan="2">目地幅(mm)</th><th rowspan="2">伸縮調整目地位置(mm)</th></tr><tr><th>平積み</th><th>曲面積み</th></tr><tr><td rowspan="2">・正方形</td><td rowspan="2">・160×160 ・200×200</td><td rowspan="2">95</td><td rowspan="2">・ ・ ・</td><td rowspan="2">※8～15 ・15～25</td><td>外側 ※15以下 内側 ※6以上 ・</td><td rowspan="2">※6m以下ごとに10～25 ・図示 ・</td></tr><tr><td>・</td></tr><tr><td>・長方形</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示 ） ・設けない 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS 304) ・ 寸法 ※径5.5mm ・ 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色（ ） シーリング材の種類（ ） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示による 形状 ・図示による 工法 （16.14.5） 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・図示による 木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔（ ） 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色 調 クリア 乳白	目地幅(mm)		伸縮調整目地位置(mm)	平積み	曲面積み	・正方形	・160×160 ・200×200	95	・ ・ ・	※8～15 ・15～25	外側 ※15以下 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに10～25 ・図示 ・	・	・長方形	・	・	・	・	・	・	17 カーテンウォール工事 1 取付方法、性能等 性能 （17.1.3） <table><tr><th rowspan="2">耐風圧性</th><th colspan="2">耐震性</th><th rowspan="2">水密性</th><th rowspan="2">気密性</th><th rowspan="2">耐火性</th><th colspan="2">耐温度差性 (℃)</th><th rowspan="2">遮音性</th><th rowspan="2">断熱性</th></tr><tr><th>水平方向(kH)</th><th>垂直方向(kV)</th><th></th><th></th></tr><tr><td>・1.0 ・</td><td>・0.5 ・</td><td></td><td></td><td></td><td>・30分 ・1時間</td><td>・80 ・70 ・60</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 性能の確認方法及び判定方法 ※性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料 適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 金属系材料の種類 ・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材 （アルミニウム材の場合） 規格等 標準仕様書16.2.3による 種別 着色 ・標準色 ・特注色 シーリング材（ガラスの取付けは除く） （17.2.2） 下表以外は標準仕様書 表9.7.1による <table><tr><th colspan="3">シーリング材の種類</th></tr><tr><th rowspan="2">被着体の組合せ</th><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">主成分による区分</th></tr><tr></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> ガラスの取付け材料 （17.2.2） ・シーリング（種類： ） ・構造ガasket（材質、形状等 ・図示 ） 断熱材 種類（ ） 厚さ(mm)（ ） 施工箇所 ・図示による 形状及び仕上げ （17.2.3） 製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1による 見え掛り部の仕上げ ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様 取付け （17.2.5） 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書 表17.2.2による ・図示による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書 表17.2.3による ・図示による ガラスの取付け方法 （17.2.6） ・ 3 PCカーテンウォール （17.3.2） 適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 材料 コンクリート 種類（ ） 品質 設計基準強度（Fc） ※30N/mm ² ・ スランプ ※12cm ・ 気乾単位容積質量 ・普通コンクリートの場合 2.1t/m ³ を超え2.5t/m ³ 以下 ・ 単位水量の最大値 ※185kg/m ³ ・ 鉄筋 種類記号 ※SD295 補強鉄線 径(mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0 網目寸法 シーリング材 （17.3.2） 下表以外は標準仕様書 表9.7.1による <table><tr><th colspan="3">シーリング材の種類</th></tr><tr><th rowspan="2">被着体の組合せ</th><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">主成分による区分</th></tr><tr></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	耐風圧性	耐震性		水密性	気密性	耐火性	耐温度差性 (℃)		遮音性	断熱性	水平方向(kH)	垂直方向(kV)			・1.0 ・	・0.5 ・				・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60				シーリング材の種類			被着体の組合せ	記 号	主成分による区分										シーリング材の種類			被着体の組合せ	記 号	主成分による区分										
区分、材料	耐風圧 による区分	開閉方式 による区分	収納形式 による区分	ガイドレールの材質																																																																																																																											
セクション材料 による区分																																																																																																																															
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラス タイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																																																																																																																											
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																																													
アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
樹脂製	・建築用ガasket ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																																													
アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
樹脂製	・建築用ガasket ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色 調 クリア 乳白	目地幅(mm)		伸縮調整目地位置(mm)																																																																																																																									
				平積み	曲面積み																																																																																																																										
・正方形	・160×160 ・200×200	95	・ ・ ・	※8～15 ・15～25	外側 ※15以下 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに10～25 ・図示 ・																																																																																																																									
					・																																																																																																																										
・長方形	・	・	・	・	・	・																																																																																																																									
耐風圧性	耐震性		水密性	気密性	耐火性	耐温度差性 (℃)		遮音性	断熱性																																																																																																																						
	水平方向(kH)	垂直方向(kV)																																																																																																																													
・1.0 ・	・0.5 ・				・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60																																																																																																																									
シーリング材の種類																																																																																																																															
被着体の組合せ	記 号	主成分による区分																																																																																																																													
シーリング材の種類																																																																																																																															
被着体の組合せ	記 号	主成分による区分																																																																																																																													
⑰ 建具工事 （ 続 き ）	⑮ 重量シャッター	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・図示による シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッター 耐風圧強度（ ）pa 開閉方式の種類（標準仕様書 表16.11.1） ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置の設置箇所 （16.11.2） 急降下制御装置又は急降下停止装置の設置箇所 ・図示による 障害物感知装置の設置箇所 ・図示による 危害防止機構の設置箇所 ・図示による 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 （16.11.3） 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ステンレス鋼板の種類 （16.11.3）（16.6.3） ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 16 軽量シャッター （16.12.2）（表16.12.1） 開閉形式 ※手動式 ・電動式（手動併用） 耐風圧強度（ ）pa 電動式の場合の安全装置 障害物感知装置の設置箇所 ・図示による スラットの材質の種類 （16.12.3） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっき付着量 ※Z06又はF06 ・JIS G 3322（塗装溶融55％アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっき付着量 ※AZ90 スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバラッピング形 （16.12.4） 17 オーバーヘッドドア （16.13.2）（16.13.3） <table><tr><th>区分、材料</th><th>耐風圧 による区分</th><th>開閉方式 による区分</th><th>収納形式 による区分</th><th>ガイドレールの材質</th></tr><tr><td>セクション材料 による区分</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラス タイプ</td><td>・125 ・100 ・75 ・50</td><td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td><td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形</td><td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板</td></tr></table> 電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所 ・図示（ ） 適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による。（16.14.2） ○フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類 ○図示（※建具表 ）による ○型板ガラスの厚さによる種類 ○図示（※建具表 ）による ○網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類 ○図示（※建具表 ）による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類 ・図示（※建具表 ）による ○強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称（呼び厚を含む）、特性による種類 ○図示（※建具表 ）による ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類 ・図示（※建具表 ）による ○複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性及び日射遮蔽性による区分、乾燥気体の種類 ○図示（※建具表 ）による ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射熱遮へい性及び耐久性による区分 ・図示（※建具表 ）による ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類 ・図示（※建具表 ）による ガラスの留め材及び溝の大きさ （16.14.2）（16.14.3）（図16.14.1） <table><tr><th>建具の種類</th><th>ガラス留め材</th><th>ガラス溝の大きさ(mm)</th></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>樹脂製</td><td>・建築用ガasket ・グレイジングビード</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr></table> ガラスの留め材及び溝の大きさ （16.14.2）（16.14.3）（図16.14.1） <table><tr><th>建具の種類</th><th>ガラス留め材</th><th>ガラス溝の大きさ(mm)</th></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>樹脂製</td><td>・建築用ガasket ・グレイジングビード</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr></table> ⑯ ガラス	区分、材料	耐風圧 による区分	開閉方式 による区分	収納形式 による区分	ガイドレールの材質	セクション材料 による区分					※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラス タイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・	樹脂製	・建築用ガasket ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・	樹脂製	・建築用ガasket ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・	18 ガラスブロック積み 材料等 （16.14.5） <table><tr><th rowspan="2">表面形状</th><th rowspan="2">呼び寸法 (mm)</th><th rowspan="2">厚さ (mm)</th><th rowspan="2">色 調 クリア 乳白</th><th colspan="2">目地幅(mm)</th><th rowspan="2">伸縮調整目地位置(mm)</th></tr><tr><th>平積み</th><th>曲面積み</th></tr><tr><td rowspan="2">・正方形</td><td rowspan="2">・160×160 ・200×200</td><td rowspan="2">95</td><td rowspan="2">・ ・ ・</td><td rowspan="2">※8～15 ・15～25</td><td>外側 ※15以下 内側 ※6以上 ・</td><td rowspan="2">※6m以下ごとに10～25 ・図示 ・</td></tr><tr><td>・</td></tr><tr><td>・長方形</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示 ） ・設けない 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS 304) ・ 寸法 ※径5.5mm ・ 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色（ ） シーリング材の種類（ ） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示による 形状 ・図示による 工法 （16.14.5） 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・図示による 木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔（ ） 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色 調 クリア 乳白	目地幅(mm)		伸縮調整目地位置(mm)	平積み	曲面積み	・正方形	・160×160 ・200×200	95	・ ・ ・	※8～15 ・15～25	外側 ※15以下 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに10～25 ・図示 ・	・	・長方形	・	・	・	・	・	・	17 カーテンウォール工事 1 取付方法、性能等 性能 （17.1.3） <table><tr><th rowspan="2">耐風圧性</th><th colspan="2">耐震性</th><th rowspan="2">水密性</th><th rowspan="2">気密性</th><th rowspan="2">耐火性</th><th colspan="2">耐温度差性 (℃)</th><th rowspan="2">遮音性</th><th rowspan="2">断熱性</th></tr><tr><th>水平方向(kH)</th><th>垂直方向(kV)</th><th></th><th></th></tr><tr><td>・1.0 ・</td><td>・0.5 ・</td><td></td><td></td><td></td><td>・30分 ・1時間</td><td>・80 ・70 ・60</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 性能の確認方法及び判定方法 ※性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料 適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 金属系材料の種類 ・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材 （アルミニウム材の場合） 規格等 標準仕様書16.2.3による 種別 着色 ・標準色 ・特注色 シーリング材（ガラスの取付けは除く） （17.2.2） 下表以外は標準仕様書 表9.7.1による <table><tr><th colspan="3">シーリング材の種類</th></tr><tr><th rowspan="2">被着体の組合せ</th><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">主成分による区分</th></tr><tr></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> ガラスの取付け材料 （17.2.2） ・シーリング（種類： ） ・構造ガasket（材質、形状等 ・図示 ） 断熱材 種類（ ） 厚さ(mm)（ ） 施工箇所 ・図示による 形状及び仕上げ （17.2.3） 製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1による 見え掛り部の仕上げ ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様 取付け （17.2.5） 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書 表17.2.2による ・図示による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書 表17.2.3による ・図示による ガラスの取付け方法 （17.2.6） ・ 3 PCカーテンウォール （17.3.2） 適用は以下によるほか、カーテンウォール図による 材料 コンクリート 種類（ ） 品質 設計基準強度（Fc） ※30N/mm ² ・ スランプ ※12cm ・ 気乾単位容積質量 ・普通コンクリートの場合 2.1t/m ³ を超え2.5t/m ³ 以下 ・ 単位水量の最大値 ※185kg/m ³ ・ 鉄筋 種類記号 ※SD295 補強鉄線 径(mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0 網目寸法 シーリング材 （17.3.2） 下表以外は標準仕様書 表9.7.1による <table><tr><th colspan="3">シーリング材の種類</th></tr><tr><th rowspan="2">被着体の組合せ</th><th rowspan="2">記 号</th><th rowspan="2">主成分による区分</th></tr><tr></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	耐風圧性	耐震性		水密性	気密性	耐火性	耐温度差性 (℃)		遮音性	断熱性	水平方向(kH)	垂直方向(kV)			・1.0 ・	・0.5 ・				・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60				シーリング材の種類			被着体の組合せ	記 号	主成分による区分										シーリング材の種類			被着体の組合せ	記 号	主成分による区分									
区分、材料	耐風圧 による区分	開閉方式 による区分	収納形式 による区分	ガイドレールの材質																																																																																																																											
セクション材料 による区分																																																																																																																															
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラス タイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																																																																																																																											
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																																													
アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
樹脂製	・建築用ガasket ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																																													
アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
樹脂製	・建築用ガasket ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色 調 クリア 乳白	目地幅(mm)		伸縮調整目地位置(mm)																																																																																																																									
				平積み	曲面積み																																																																																																																										
・正方形	・160×160 ・200×200	95	・ ・ ・	※8～15 ・15～25	外側 ※15以下 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに10～25 ・図示 ・																																																																																																																									
					・																																																																																																																										
・長方形	・	・	・	・	・	・																																																																																																																									
耐風圧性	耐震性		水密性	気密性	耐火性	耐温度差性 (℃)		遮音性	断熱性																																																																																																																						
	水平方向(kH)	垂直方向(kV)																																																																																																																													
・1.0 ・	・0.5 ・				・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60																																																																																																																									
シーリング材の種類																																																																																																																															
被着体の組合せ	記 号	主成分による区分																																																																																																																													
シーリング材の種類																																																																																																																															
被着体の組合せ	記 号	主成分による区分																																																																																																																													
⑱ 建具工事 （ 続 き ）	⑮ 重量シャッター	性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・図示による シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッター 耐風圧強度（ ）pa 開閉方式の種類（標準仕様書 表16.11.1） ※電動式（手動併用） ・手動式 安全装置の設置箇所 （16.11.2） 急降下制御装置又は急降下停止装置の設置箇所 ・図示による 障害物感知装置の設置箇所 ・図示による 危害防止機構の設置箇所 ・図示による 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 （16.11.3） 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ステンレス鋼板の種類 （16.11.3）（16.6.3） ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 16 軽量シャッター （16.12.2）（表16.12.1） 開閉形式 ※手動式 ・電動式（手動併用） 耐風圧強度（ ）pa 電動式の場合の安全装置 障害物感知装置の設置箇所 ・図示による スラットの材質の種類 （16.12.3） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） めっき付着量 ※Z06又はF06 ・JIS G 3322（塗装溶融55％アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） めっき付着量 ※AZ90 スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバラッピング形 （16.12.4） 17 オーバーヘッドドア （16.13.2）（16.13.3） <table><tr><th>区分、材料</th><th>耐風圧 による区分</th><th>開閉方式 による区分</th><th>収納形式 による区分</th><th>ガイドレールの材質</th></tr><tr><td>セクション材料 による区分</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラス タイプ</td><td>・125 ・100 ・75 ・50</td><td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td><td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形</td><td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板</td></tr></table> 電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所 ・図示（ ） 適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による。（16.14.2） ○フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類 ○図示（※建具表 ）による ○型板ガラスの厚さによる種類 ○図示（※建具表 ）による ○網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類 ○図示（※建具表 ）による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類 ・図示（※建具表 ）による ○強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称（呼び厚を含む）、特性による種類 ○図示（※建具表 ）による ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類 ・図示（※建具表 ）による ○複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性及び日射遮蔽性による区分、乾燥気体の種類 ○図示（※建具表 ）による ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射熱遮へい性及び耐久性による区分 ・図示（※建具表 ）による ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類 ・図示（※建具表 ）による ガラスの留め材及び溝の大きさ （16.14.2）（16.14.3）（図16.14.1） <table><tr><th>建具の種類</th><th>ガラス留め材</th><th>ガラス溝の大きさ(mm)</th></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>樹脂製</td><td>・建築用ガasket ・グレイジングビード</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr></table> ガラスの留め材及び溝の大きさ （16.14.2）（16.14.3）（図16.14.1） <table><tr><th>建具の種類</th><th>ガラス留め材</th><th>ガラス溝の大きさ(mm)</th></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>樹脂製</td><td>・建築用ガasket ・グレイジングビード</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>・シーリング材</td><td>※建具の製造所の仕様による ・</td></tr></table> ⑯ ガラス	区分、材料	耐風圧 による区分	開閉方式 による区分	収納形式 による区分	ガイドレールの材質	セクション材料 による区分					※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラス タイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・	樹脂製	・建築用ガasket ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・	樹脂製	・建築用ガasket ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・	18 ガラスブロック積み 材料等 （16.14.5） <table><tr><th rowspan="2">表面形状</th><th rowspan="2">呼び寸法 (mm)</th><th rowspan="2">厚さ (mm)</th><th rowspan="2">色 調</th></tr></table>	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色 調																																																																											
区分、材料	耐風圧 による区分	開閉方式 による区分	収納形式 による区分	ガイドレールの材質																																																																																																																											
セクション材料 による区分																																																																																																																															
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラス タイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																																																																																																																											
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																																													
アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
樹脂製	・建築用ガasket ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																																													
アルミニウム製	・シーリング材 ・建築用ガasket ※グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
樹脂製	・建築用ガasket ・グレイジングビード	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・																																																																																																																													
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色 調																																																																																																																												

一級建築士事務所 東京都登録第4539号

株式会社 楠山設計
東京都千代田区神田小川町3-2-0

意匠設計

一級建築士登録第 301497 号
高 橋 徹

構造設計

一級建築士登録第 271669 号
構造設計一級建築士登録第 6676 号
飯 屋 直 耕 一

DATE
2025.03.31

決
裁
印

川口市
-7.5.12
建築課

TITLE
根岸公民館改築工事

SUBTITLE
特記仕様書(7)

APPROVE BY CHECKED BY DRAWN BY

SCALE
A1: -
A3: -

DRAWN NO.
設計図 意匠 A - 007

⑬内装工事

①接着剤

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の
ゴム床タイル用接着剤の主成分による区分
・ 図示による

下地の施工
標準仕様書19. 2. 3 (1) (㉠) から (㉡) 以外の下地の工法
・ 図示による

②ビニル床シート

材料
種類の記号色柄厚さ (mm)備考
※FS (複層ビニル床シート)○ NW※2. 0
接合部の処理 ※熱溶接工法

③ビニル床タイル

材料
種類の記号色柄寸法 (mm)厚さ (mm)備考
※KT (コンポジションビニル床タイル)○無地・ 300×300※2. 0
・ TT (単層ビニル床タイル)○ﾎﾟｰﾌﾞﾙ・ 450×450○3. 0
○FT (複層ビニル床タイル)
・ FOA (置敷きビニル床タイル)
・ FOB (薄型置敷きビニル床タイル)

④特殊機能床

材料
シート・タイル種別種 類性能厚さ、寸法、形状 (mm)
・帯電防止床シート厚さ：
・帯電防止床タイル寸法： 厚さ：
○視覚障害者用床タイル形状： 300x300
・衝動荷重性床シート厚さ：
○防滑性床シート厚さ： 2. 0
・防滑性床タイル寸法： 厚さ：

⑤ビニル幅木

材質 ○軟質 ・硬質
高さ (mm) ※60 ・70 ・100
厚さ (mm) ※1. 5以上

6ゴム床タイル

種類 ・単層品 ・複層品
色柄 ()
厚さ (mm) ・3. 0 ・4. 5 ・6. 0 ・9. 0
寸法 (mm) ()

⑦カーベットの敷き

・縦じゅうたん
織り方バイル形状帯電性備考
・ウィルトンカーベットのカットバイル・適用する
・ダブルフェスカーベットのループバイル・適用しない
・アキスミンスターカーベットのカット・ループ併用
色柄、バイル糸の種類等
※色柄は模様のない無地のもの 種別 ・A種 ・B種 ・C種
下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ8mm
見切り、押え金物
・適用する (材質、形状等 ・ 図示 ・)
・適用しない
縦じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法
・タフテッドカーベットのバイル形状バイル長 (mm)工法帯電性備考
・カットバイル・グリッター工法・適用する
・ループバイル・全面接着工法・適用しない
・カット、ループ併用
下敷き材 (グリッター工法の場合)
※JIS L 3204 (反毛フェルト) の第2種1号 呼び厚さ8mm
見切り、押え金物
・適用する (材質、形状等 ・ 図示 ・)
・適用しない
・タイルカーベットのバイル形状寸法 (mm)総厚さ (mm)施工箇所備考
※第一種 ※ループバイル※500×500※6. 5図示による帯電防止ｸﾘｯﾌﾟ
・第二種
・第一種 ・カットバイル※500×500※6. 5
・第二種 ・カット、ループ併用※500×500※6. 5
見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ・ 図示 ・)
○適用しない
タイルカーベットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し
階段部分 ※模様流し ・市松敷き
7 合成樹脂塗床

合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
種類 (19. 4. 2) (19. 4. 3) (表19. 4. 1～8)
種 類工 法仕上りの種類施工箇所
・厚膜型塗床材 (弾性ｸﾗｯｼｭ樹脂系塗床材)※平滑仕上げ
・防滑仕上げ
・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂塗床材)・薄膜流しのべ工法
・平滑仕上げ
・厚膜流しのべ工法
・防滑仕上げ
・樹脂修補工法
・薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂塗床材)※平滑仕上げ

⑧フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書19. 5. 2 (2) による
単層フローリング (19. 5. 2～19. 5. 5)
種 類工 法樹種厚さ及び大きさ
・釘留め工法 (根太張り)※標準仕様書19. 5. 1 による
・釘留め工法 (直張り)※標準仕様書19. 5. 3 による
・接着工法※標準仕様書19. 5. 5 による
・フローリングブロック1等・接着工法
複合フローリング (19. 5. 2～19. 5. 5)
種 類工 法樹種厚さ及び大きさ
・釘留め工法 (根太張り)※標準仕様書19. 5. 2 による
・A種 ・B種 ・C種
・釘留め工法 (直張り)※標準仕様書19. 5. 4 による
・A種 ・B種 ・C種
○接着工法○㊦※標準仕様書19. 5. 6 による
○A種 ・B種 ・C種
接着工法の場合の不陸緩衝材 ※合成樹脂発泡シート (19. 5. 5)
種別 (19. 6. 2) (表19. 6. 1)
・A種 ・B種 ・C種 ○D種 (畳床：○KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)
・衝撃緩和型畳
畳表 (JIS A 5902) ・C1 ・C2
材料 (19. 7. 2) (表19. 7. 1)
規格名称種 類厚さ (mm)
木質系セメント板・硬質木毛セメント板・15 ・20 ・25
・中質木毛セメント板・15 ・20 ・25
・普通木毛セメント板・15 ・20 ・25
○硬質木片セメント板・12 ・15 ○18 ・21
・普通木片セメント板・30
繊維強化セメント板・けい酸カルシウム板㊦7 2 (無石棉) ・6 ・8
火山性ガラス質複層板 (VSボード)・火山性ガラス質複層板
・ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)・3 ・7 ・9 ・12
・ハードボード (素地)・無研磨板 (・スタンダード ・テンパード)
・研磨板 (・スタンダード ・テンパード)
・2. 5 ・3. 5 ・5 ・7
・内装用 ・外装用
・ハードボード (化粧)・2. 5 ・3. 5 ・5 ・7
・インシュレーションボードA級 (・天井仕上 ・内装仕上 ・)
・9 ・12 ・15 ・18
・無研磨板 ・研磨板
・10 ・12 ・15 ・18
・単板オーバーレイ
・プラスチックオーバーレイ
・塗装
・10 ・12
パーティクルボード・化粧パーティクルボード
吸音材料○ロックウール化粧吸音板○フラットタイプ (○9 (不燃) ・12 (不燃) ・)
・凹凸タイプ (・9 (不燃) ・12 (不燃) ・)
・ロックウール吸音ボード1号・25
・グラスウール吸音ボード32K・25 (ガラスクロス包)
○せっこうボード○12. 5 (不燃) ・15 (不燃) ・
・不燃積層せっこうボード・化粧無 (下地張り用)
・化粧有 (トラバーチン模様) ・9. 5 (不燃)
○シージングせっこうボード○12. 5 (不燃) ・15 (不燃)
・強化せっこうボード・12. 5 (不燃) ・15 (不燃)
・せっこうラスボード・9. 5
・化粧せっこうボード (木目)模様の (・柱目 ・板目)
専用下地材有り
・12. 5 (不燃) 幅400mm程度
○化粧せっこうボード (トラバーチン模様)○9. 5 (準不燃)
MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
ボード表面への化粧張仕上の有無
・有り (種類：)
天井のボードの重ね張りの張り付け方法 (ロックウール吸音板を除く) (19. 7. 3)
(
せっこうボードの目地工法 (19. 7. 3)
種類
・図示 (仕上げ表) による
せっこうボードのエッジの種類 (突付け工法、目透し工法の場合)
・図示による

⑨畳敷き

⑩せっこうボード、
その他ボード及び
合板張り

⑫断熱材

断熱材 (19. 7. 2) (表19. 7. 1)
種 類厚さ (mm)施工箇所
・断熱材打込み工法
断熱材名種類 (記号)厚さ (mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材・
○押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)○ 25ｽﾗｯﾄ 裏
・硬質ウレタンフォーム断熱材・
・フェノールフォーム断熱材・
フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
○断熱材現場発泡工法 (19. 9. 4)
断熱材の種類※A種1・A種1H
収付け厚さ (mm)○25・30
施工箇所○図示による

⑬フリーアクセスフロア

材料等 (20. 2. 2)
施工箇所構 造寸法 (mm)高さ (mm)耐震性能所定荷重表面仕上材備考
図示による○支柱調整式○500×500○100○1. 0G○3, 000N・帯電防止床タイル
・置敷式○0. 6G・5, 000N○タイルカーペット
帯電防止性能・U値 (クラス1) ・U値 (クラス2)
漏えい抵抗・R≧1×10⁴ Ω
耐衝撃性能、耐衝撃性能、ローリンググロウド性能、耐燃焼性能の試験方法
※標準仕様書20. 2. 2 (2) (イ) による
寸法精度
※標準仕様書20. 2. 2 (2) (㉡) による
材料等 (20. 2. 3)
構造形式による種類構成基材の種類パネル表面仕上げ遮音性能 (dB/500Hz)
スタッドパネル
・スタッド式 (内蔵)・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付け
・スタッド式 (露出)・壁紙張り
・スタッドパネル式
・パネル式
パネル内に取付ける建具 ・あり (寸法及び形状 ・ 図示 ・)
・なし
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
材料等 (20. 2. 4)
操作方法による種類圧縮装置の操作方法パネル表面材遮音性 (dB/500Hz)
○手動式・プッシュ式○鋼板○焼付塗装
・電動式○ハンドル式・壁紙張り
・部分電動式
ハンガーレールの取付け下地の補強
○標準仕様書20. 2. 4 (3) (㉡) による ・ 図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
○標準仕様書20. 2. 4 (3) (㉡) による ・ 図示による
ハンガーレール
○標準仕様書20. 2. 4 (3) (㉡) による ・ 図示による
ランナー
○標準仕様書20. 2. 4 (3) (㉡) による ・ 図示による
あと施工アンカー
・使用する 種類：材質：寸法：
○使用しない
材料等 (20. 2. 5)
パネル表面材の材質脚部の種類ドアエッジの材質
○メラミン樹脂系化粧板※幅木タイプ※製造所の仕様による
・ポリエステル樹脂系化粧板・アルミニウム製
・ステンレス製
・表面材と同材
パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

⑭トイレブース

⑮手すり

材料の種類 ○7&芯材
仕上げ ○ビニル被覆 (20. 2. 7)
材料等 (20. 2. 7)
材 種形状寸法 (mm)取付け工法
○ステンレス製 (SUS 304) ・ひも型※接着工法
・黄銅製押出型材○タイヤ型○埋込み工法
・アルミニウム製押出型材
黒板及び
ホワイトボード (20. 2. 9)
黒板区分 ※焼付け
種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板
○ホワイトボード () (20. 2. 9)
取付箇所 () (20. 2. 10)
寸法 (mm) ○図示による
厚さ (mm) ※5
○衝突防止表示 (20. 2. 11)
形状、寸法 (○30φ
材質 (○ステンレス製
・非常用出入口等の表示等
※消防法に適合する市販品
室名札、ビクトグラフ、案内板等の形状寸法材質色、書体、印刷等の種別、取付け形式 (20. 2. 11)
○図示による
⑩タラップ (20. 2. 12)
材料の種類 ※ステンレス製
仕上げ ※研磨等の仕上げを行わない
11 煙突ライニング (20. 2. 13)
煙突用成形ライニング材
適用安全使用温度℃
工法 ()
12 ブラインド (20. 2. 12)
材料等
・横形ブラインド
種類 ※ギア式 ・コード式 ・操作棒式
幅、高さ ・図示による
スラットの幅 ※25mm
材質
スラット ※アルミニウム合金製
ヘッドボックス ※鋼製
ボトムレール ※鋼製
・縦形ブラインド
幅、高さ ・図示による
開閉方式 ・片開き ・両開き
操作方法 ※2本操作コード方式 ・1本操作コード方式
スラットの材質 ・焼付け塗装仕上げのアルミスラット
・消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット
スラットの幅 () mm
13 ロールスクリーン (20. 2. 15)
材料等
材 種品 質操作方式幅、高さ取付箇所備考
・ポリエステル・電動式・図示・図示
・スプリング式
・チェーン式
巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料
※製造所の仕様による
14 カーテン (20. 2. 16) (表20. 2. 1)
材料等
形 式開閉操作ひだの種類生地の種類、品質、特殊加工等取付箇所備考
・シングル・片引き・手引き・つまみひだ
・ダブル・引分け・ひも引き (三つ山ひだ、二つ山ひだ)
・電動
・箱ひだ、片ひだ
・プレーンひだ
(暗幕)
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上
⑮カーテンレール (20. 2. 16)
材料等
レール及びブラケットの強さによる区分 ※10-90
レールの材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
○ステンレス製
レールの仕上げ ※アルマイト
レールの形状 ※角形
カーテン付属物 フック (ひるかん) ※鋼製 ・樹脂製
補強鉄線の径及び網目寸法 ・図示による (20. 2. 2)
製作 (20. 3. 3)
コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する調査強度
・図示による
配筋
・図示による
取付け方法 (20. 3. 4)
・図示による

一級建築士事務所 東京都登録第4539号  株式会社 楠山設計 東京都千代田区神田小川町3-20		意匠設計 一級建築士登録第 301497 号 高橋 徹		2025.03.31		決裁印 	根岸公民館改築工事 特記仕様書(8) 設計図 意匠 A-008			
構造設計 一級建築士登録第 271669 号 構造設計一級建築士登録第 6676 号 飯屋 園 耕 一							SCALE A1:- A3:- APPROVE BY CHECKED BY DRAWN BY DRAWN NO.			

⑫ ユニット及びその他の工事「続き」

17 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み

材料等 (20. 4. 2)
材 料 材 種 種 類 質量区分 備 考
・間知石 ・花こう岩 ・凝灰岩
・コンクリート間知ブロック
工法 (20. 4. 3)
積み方 ※谷積み ・布積み
目塗り ・図示による ・
伸縮調整目地 材種 ・図示による ・
厚さ ・図示による ・
溝幅×深さ (mm)
・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ○図示による
材質 ○集成材（仕上げ： ）
○アルミニウム製 押出し型材（市販品）
種別（標準仕様書表14. 2. 1） ・BC-1種 ・BC-2種
色合い ・標準色（ ） ・特注色（ ）
・鋼製（仕上げ： ）
⑬ プラインドボックス及びカーテンボックス
⑭ 天井点検口
⑮ 床点検口
⑯ 耐震スリット
⑰ 止水板
23 エキスパンションジョイント金物
24 くつふきマット
⑱ 流し台ユニット
26 旗竿
27 旗竿受金物
⑳ 車止め支柱
㉑ フェンス
30 鋼製書架及び物品棚

31 屋内掲示板

29 洗面カウンター
33 防煙垂れ壁
34 収納家具
35 屋外掲示板
36 敷地境界石標
㉒ 排水工事
① 屋外雨水排水
2 鉄鉄製ふた
3 グレーチング
4 街きよ、緑石、側溝

枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩化ビニルシート張り ・
材種 ○メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石
奥行き (mm) ・約450 ○約600
・固定式
材 質 厚さ (mm) 高さ (mm) 備 考
※納入り磨き板ガラス ※6. 8 ※500
・線入り磨き板ガラス
・可動式
種 類 材 質 高さ (mm) 備 考
・垂直降下式（巻取り型） ※不燃布（不燃認定品） ※500 ガイドレール
・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500 ※固定式（壁埋込み型）
表面仕上げ
※天井材質張り
降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込み型）
材質形状・寸法 ※図示による ・
合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
照明器具 ※有り ○無し
旋錠 ※有り ・無し
種類 ※コンクリートブロック製（市販品）【現状、境界石が無い箇所は復旧することとする】
・花こう石類（文字記号等入り）
排水管用材料 (21. 2. 1) (表21. 2. 1)
材 種 種類・記号 形 状 呼び径 備 考
・遠心力鉄筋コンクリート管 外圧管（1種） ・B形管 ・図示
○硬質ポリ塩化ビニル管 ○VP ○図示
・VU
・RS－VU
・硬質ポリ塩化ビニル管継手 ・DV
・VU継手
・VU継手
基床の厚さ及び種類 ○図示による ・ (21. 2. 2)
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ・ゴム輪 (21. 2. 2)
側境の形状及び寸法 ○図示による ・ (21. 2. 1)
排水樹の種類 ○図示による ・ (21. 2. 1)
砂地業に用いる材料 (21. 2. 1)
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料 (21. 2. 1)
○再生クラッシャーラン ・切込砂利 ・切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート材料 (21. 2. 1)
※普通コンクリート
設計基準強度 ※18N/mm² ・
スランプ ※15cm又は18cm ・
・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 ・ (21. 2. 1)
凍上抑制層に用いる材料 ・ (21. 2. 1)
砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない
・標準仕様書21. 2. 2 (6) (イ)の排水樹を現場打ちとする場合の足掛け金物 (21. 2. 2)
・幅400mm、径22mmのステンレス製
・径22mmの防錆処理を行った鋼製
・径19mmの成樹根被覆加工を行ったもの
種類 (21. 2. 1)
名 称 種 類 適用荷重 鍵 備 考
鉄鉄製マンホールふた
・水封形 ・T－2用 ・有り
・簡易密閉形（パッキン式） ・T－6用 ・無し
・密閉形（テーパー・パッキン式） ・T－20用
・中ふた付き密閉形（テーパー・パッキン式）
・
材料等 (21. 2. 1)
材 質 形 式 用 途 適用荷重 メインバー 垂れめつきピッチ (付着量) 上面形状
・鋼製 ・受枠付き、 ・溝ふた（横断用） ・歩行用 ・細目 ・（ ） ・凹凸形
・ボルト固定・溝ふた（側溝用）
・樹ふた用
・U字溝用
・T－2用
・T－6用
・T－14用
・T－20用
○ステンレス製 ○受枠付き、 ○溝ふた（横断用） ・歩行用 ・ ー ・凹凸形
・ボルト固定・溝ふた（側溝用）
・樹ふた用
○U字溝用
・T－2用
○T－6用
・T－14用
○T－25用
材料 (21. 3. 1) (表21. 3. 1)
種 類 形状、寸法
○緑石 ○図示
・L形側溝 ○図示
○U形側溝 ○図示
○U形側溝ふた ○図示
・
砂地業の材料 (21. 3. 1)
・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料 (21. 3. 1)
○再生クラッシャーラン ・切込砂利 ・切込砕石
砂利地業の厚さ ※100 (mm) ○図示による (21. 3. 2)
・現場打ちの場合のコンクリート材料 (21. 3. 1)
※普通コンクリート
設計基準強度 ※18N/mm² ・
スランプ ※15cm又は18cm ・

① 路床
舗装工事
② 路盤
3 アスファルト舗装
④ コンクリート舗装
⑤ カラー舗装
⑥ 透水性アスファルト舗装
⑦ ブロック系舗装

路床の材料 (22. 1. 3) (22. 2. 2) (22. 2. 3)
種 別 材 料 厚 さ (mm)
・盛土 標準仕様書表3. 2. 1により
・A種 ・B種 ・C種 ・D種
・凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン
・切込み砂利
・砂
透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ ・図示による ・
路床安定処理 ・適用する ・適用しない (22. 2. 2) (22. 2. 3)
安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法
添加材料 (表22. 2. 1)
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号・1号） ・消石灰（・特号・1号）
添加量を定めるために用いるGBR（ ） (22. 2. 4)
試験 (22. 2. 5)
路床土の支持力比（GBR）試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験（現場密度） ・行う ・行わない
現場GBR 試験 ・行う ・行わない
路盤の厚さ ○図示による ・ (22. 3. 2)
路盤材料 ※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・粒度調整砕石 (表22. 3. 1)
※再生粒度調整砕石 ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による ・ (22. 4. 2)
材料
アスファルト ・再生アスファルト（・60～80 ・80～100）
・ストレートアスファルト
加熱アスファルト混合物の種類 (22. 4. 4) (表22. 4. 4)
区 分 地 域 種 類
表層 ・一般地域 ・密粒度アスファルト混合物(13)
・寒冷地域 ・密粒度アスファルト混合物(13F)
試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・
コンクリート舗装の厚さ (22. 5. 2)
舗装の種類 部 位 構 成 厚 さ (mm)
コンクリート舗装 歩行者用通路 ・図示 ・ ※70 ・図示
車路及び駐車場 ○図示 ・ ○図示 ・
材料 (22. 5. 3)
コンクリート ※標準仕様書表22. 5. 1による ・図示による
早強ポルトランドセメント ・使用する ○使用しない
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ
施工：目地 (22. 5. 4)
種類、間隔、構造 ※標準仕様書表22. 5. 3及び図22. 5. 1による ・図示による
舗装の平坦性 (22. 5. 2)
舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・
⑤ 加熱系カラー舗装 (22. 6. 2) (22. 6. 3) (22. 6. 4) (表22. 6. 1)
構成・厚さ ○図示による ・
刈込みものの適用 ・適用する（数量： ）
・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物 顔料の添加量（ ）
加熱系混合物に添加する材料
・着色骨材（ ） ・自然石（ ）
アスファルト混合物の抽出試験 ○行う ・行わない (22. 6. 6)
・常温系カラー舗装 (22. 6. 2) (22. 6. 3) (22. 6. 4) (表22. 6. 1)
工法 ・ニート工法 ・塗布工法
着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
ニート工法及び塗布工法の配合等 ・
舗装の平坦性 (22. 6. 6)
※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・
舗装の構成 ※図示による ・ (22. 7. 2)
材料 (22. 1. 3) (22. 7. 3)
アスファルト ※再生アスファルト（・60～80 ・80～100）
・ストレートアスファルト
試験 (22. 7. 6)
間粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの ・ (22. 7. 2)
・コンクリート平板舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)
種 類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地材
※普通平板 (N) ・300角 ※60 ・砂
・透水性平板 (P) ・モルタル
・保水性平板 (M)
クッション材 ・砂 ・空線モルタル (22. 8. 2)
仕上がり面の平坦性 ※コンクリート平板間の段差3mm以内 ・ (22. 8. 2)
○インターロッキングブロック舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)
種 類 部 位 形状、寸法 厚さ (mm) 曲げ強度 (N/mm²) 色彩、表面加工等
※普通ブロック (N) 車路 ・図示 ※80 ・ ※5. 0 ・標準品
・透水性ブロック (P) 歩行者用通路 ○図示 ※60 ・ ※3. 0 ・
・保水性ブロック (M)
インターロッキングブロックの割付け ・図示による ・ (22. 8. 4)
仕上がり面の平坦性 ※コンクリート平板間の段差3mm以内 ・ (22. 8. 2)

⑧ 砂利敷き
⑨ 路面標示
㉓ 植栽及び屋上緑化工事
① 植栽地の確認等
② 植栽基盤の整備
3 植込み用土
4 土壤改良材
5 樹木
6 支柱
7 幹巻き用材料
8 芝
9 吹付けは種
10 地被類
11 新植、移植樹木、芝等の枯保証
12 屋上緑化

インターロッキングブロック舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)
種 類 部 位 形状、寸法 厚さ (mm) 曲げ強度 (N/mm²) 色彩、表面加工等
※普通ブロック (N) 車路 ・図示 ※80 ・ ※5. 0 ・標準品
・透水性ブロック (P) 歩行者用通路 ○図示 ※60 ・ ※3. 0 ・
・保水性ブロック (M)
インターロッキングブロックの割付け ・図示による ・ (22. 8. 4)
仕上がり面の平坦性 ※コンクリート平板間の段差3mm以内 ・ (22. 8. 2)
⑧ 砂利敷き
⑨ 路面標示
㉓ 植栽及び屋上緑化工事
① 植栽地の確認等
② 植栽基盤の整備
3 植込み用土
4 土壤改良材
5 樹木
6 支柱
7 幹巻き用材料
8 芝
9 吹付けは種
10 地被類
11 新植、移植樹木、芝等の枯保証
12 屋上緑化
植栽地の確認等 (23. 1. 3)
② 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)
植 栽 工 法 有効土層の厚さ (cm) 整備範囲 (面積) 土壌改良材
○樹木 ※A種 樹高12m以上（※100 ・120 ・150） ・葉張り部分 ・適用する
・B種 ・植栽部分 ○適用しない
・C種 樹高7m以上～12m未満 ○図示
・D種 （※80 ・100）
樹高3m以上～7m未満
（※60 ・80）
樹高3m未満
（※50 ・60）
・芝、地被類 ※B種 ※20 ・植栽部分 ・適用する
・図示 ・適用しない
植栽基盤の排水設備（暗きよ、開きよ、排水層縦穴排水等） (23. 2. 2)
・設ける（※図示 ） ・設けない
・現場発土の良質土 ○寄土 (23. 2. 3)
種類、指定量 (23. 2. 3) (23. 2. 4)
・パーク地肥
施工箇所 ・植栽範囲 ・図示による
指定量 植栽基盤面積1㎡あたり（・ L ・ ）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
施工箇所 ・植栽範囲 ・図示による
指定量 植栽基盤面積1㎡あたり（・ L ・ ）
5 樹木 (23. 3. 2)
樹種、寸法、株立数 ・図示による ・
刈込みものの適用 ・適用する（数量： ） ・適用しない
6 支柱 (23. 3. 2)
支柱材の種類 ※丸太（間伐材） ・真竹
防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材
形式 (23. 3. 3)
・添え柱形 ・鳥居形 ・ハツ掛け形
・布掛け形 ・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形
材料 ※幹巻き用テープ ・わら ・こも (23. 3. 2)
種類 ※コウライシバ ・ノシバ (23. 4. 2)
芝張りの工法 (23. 4. 3)
平地 ※目地張り ・べた張り
法面 ・目地張り ※べた張り
種類等 (23. 4. 2)
種子の種類 種子の量 (g/㎡) 備 考
※洋芝類
・
種類等 (23. 4. 2)
・ 植物の種類 芽立数 径 単位面積当たりの株数
・
・
・
新植樹木の枯補償の期間（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む） (23. 3. 4) (23. 4. 7)
※引渡しの日から1年 ・ 無し
移植樹木の枯損処置を行う期間 (23. 3. 6)
・引渡しの日から1年 ・ 無し
植栽基盤及び材料 (23. 5. 2) (23. 5. 3)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・図示による ・
排水層 ・軽量骨材（層の厚さ： ） ・板状成形品
植込み用土 ※改良土 ・人口軽量土
・屋上緑化軽量システム
樹木、芝及び地被類 (23. 5. 3)
樹種、寸法、株立数 ・図示による ・
刈込みものの適用 ・適用する（数量： ） ・適用しない
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 (23. 5. 3)
・図示による ・
工法 (23. 5. 4)
平成12年建設省告示第1458号に基づく風圧力に対応した工法
・図示による ・
支柱 ・設置する（形式 ・図示 ） (23. 5. 4)
かん水装置 ・設置する（種類 ・図示 ） (23. 5. 4)

項 目	工事区分	建築工事		電気工事		設備工事		別 途 工 事	備 考
		本体工事	外構工事	電気 設備工事	昇降機 設備工事	給・衛 設備工事	空調換気 設備工事		
1. 開口部									
1. コンクリートスリブ開口：鉄骨工事鋼管スリブ入れ		○							芯出し共
2. コンクリートスリブ開口：壁、床スラブ重鉛鉄板製枠スリブ入れ				○	○	○	○		墨出し、モルタル詰め補修共 仕上は建築工事
3. コンクリートスリブ開口：梁、壁、床スラブ鉄管ボイドスリブ入れ				○		○	○		墨出し、モルタル詰め補修共 仕上は建築工事
4. 1～3. 開口部：鉄筋切断及び補強筋入れ		○							
5. 軽量鉄骨下地開口部補強：壁、天井（L GW、L GC部、下地切断共）		○							照明器具、ガラリ、空調吹出口、衛生器具等。取付用枠を含む。
6. 同 上 ボード切開 電気、機械設備関係開口		○							墨出しは各設備工事
7. 天井点検口、床下点検口及び取付け開口部補強		○							ボード切込み共、墨出しは各設備工事
8. 外壁・サッシに取付けるガラリ（外部コーキング、チャンパー取付用金物含む）		○							バンドキャップは、冷暖房設備工事
9. ダクト・パイプ・電気シャフト点検口		○							
10. 防火区画貫通部補修		○		○		○	○		モルタル及び耐火パテ処理・ロックウール充填等
11. 便器取付開口部用箱入れ						○			補強及び仕上は建築工事、穴埋めは給排水衛生設備工事
11. 分電盤取付用箱入れ		○							開口部補強及び搬入後閉鎖含む 搬入用フックを含む
12. 機器搬入用入口		○							
13. 外壁貫通スリブ・床貫通スリブ廻りの防水		○							
14. 貫通穴及びダクト空隙の充填				○		○	○		
15. スリブ・コア抜き部の配管後の左官仕上げ		○							
2. 器 具									
1. 既製品流し台、ガス台、吊戸棚、クッキングヒーター付電磁調理器		○				○			排水器具、水切板取付（穴抜き共）含む
2. 既製品流し台：排水管の接続						○			
3. 陶器製衛生機器						○			
4. 洗面器等取付けライニング壁(下地補強共)		○							
5. 化粧用洗面器						○			2階男子トイレ(2)、女子トイレ(2)の手洗い設備含む
6. 鏡		○				○			日本間、視聴覚室の家具鏡は建築工事
7. 洗面化粧カウンター		○				○			穴開けコーキング共
8. 換気扇取付け：ダクト接続があるもの							○		天井扇等
9. 換気扇取付け：壁、サッシ等の取付け							○		ウェザーカバー共
10. 換気扇取付け用枠、取付け板		○							フード取付、開口及び防水は冷暖房設備工事
11. 手摺		○				○			トイレ内手摺取付共
12. 地流し及び水飲流し		○							
13. ベビーチェア・ベビーシート		○							
3. 排 水									
1. ルーフドレイン、中継ドレイン取付け等		○							
2. 壁どい（壁引・横引）取付け		○							雨水貯留槽までの配管及び併共
3. 雨水排水管等の第一樹から排水幹線までの配管		○							
4. 生活排水の建物内及び第一樹までの配管						○			
5. 生活排水の第一樹から排水本管までの配管						○			
6. 敷地雨水排水			○			○			浸透系統は外構工事、浸透系統オーバーフロー管を含む
7. トラップ樹、汚水樹の化粧蓋						○			
8. 同上化粧蓋の仕上げ工事		○							
9. オーバーフロー排水、ポンプアップ排水						○			
4. 電気関連									
1. 煙感知器連動防火戸・シャッター		○							
2. 同上 防災設備の電源・二次側配管・配線及び検出器・制御盤共				○					防火シャッターリレーは建築工事
3. 電動シャッター、自動扉本体及びコントロールボックス		○							
4. 同上1次側電源工事（コントロールボックスまで）				○					2次側配管配線は建築工事
5. 屋内消火栓ボックス、消火ポンプ、制御盤						○			起動リレーは給排水衛生設備工事
6. 屋内消火栓の表示灯、ベル、発信器、動力等配管配線				○					
7. 自動火災報知設備				○					
8. 消火器ボックス		○							
9. テレビアンテナ本体及び取付け				○					
10. 電話・LANの引込、配線								○	電話・LAN配線ルートの確保及び配管、各階電話・LAN端子盤は電気設備工事
11. 電気錠の制御盤までの電源供給				○					
12. 電気錠		○							納品・取付・調整含む
13. 制御盤(2回線用)及び同オプシヨンボックス(バッテリーユニット)		○		○					納品は建築工事、取付は電気設備工事
14. 電気錠操作表示器		○							
15. 電気錠のセキュリティ用配管、埋込配管、配線				○					
16. 機械警備用配管、埋込配管				○					機器別途、調整含む、建具内は建築工事
5. 設備関連									
1. 設備用機械コンクリート基礎（雑用コンクリート打を含む）		○							設備機器架台を含む、墨出しは各設備工事
2. 機器用アンカーボルト、機械用関連機器		○		○		○	○		芯出し共
3. 床かさ上げコンクリート、ビット、トラフ及び蓋取付け仕上		○							
4. 配管ダクト機器の支持金物				○		○	○		

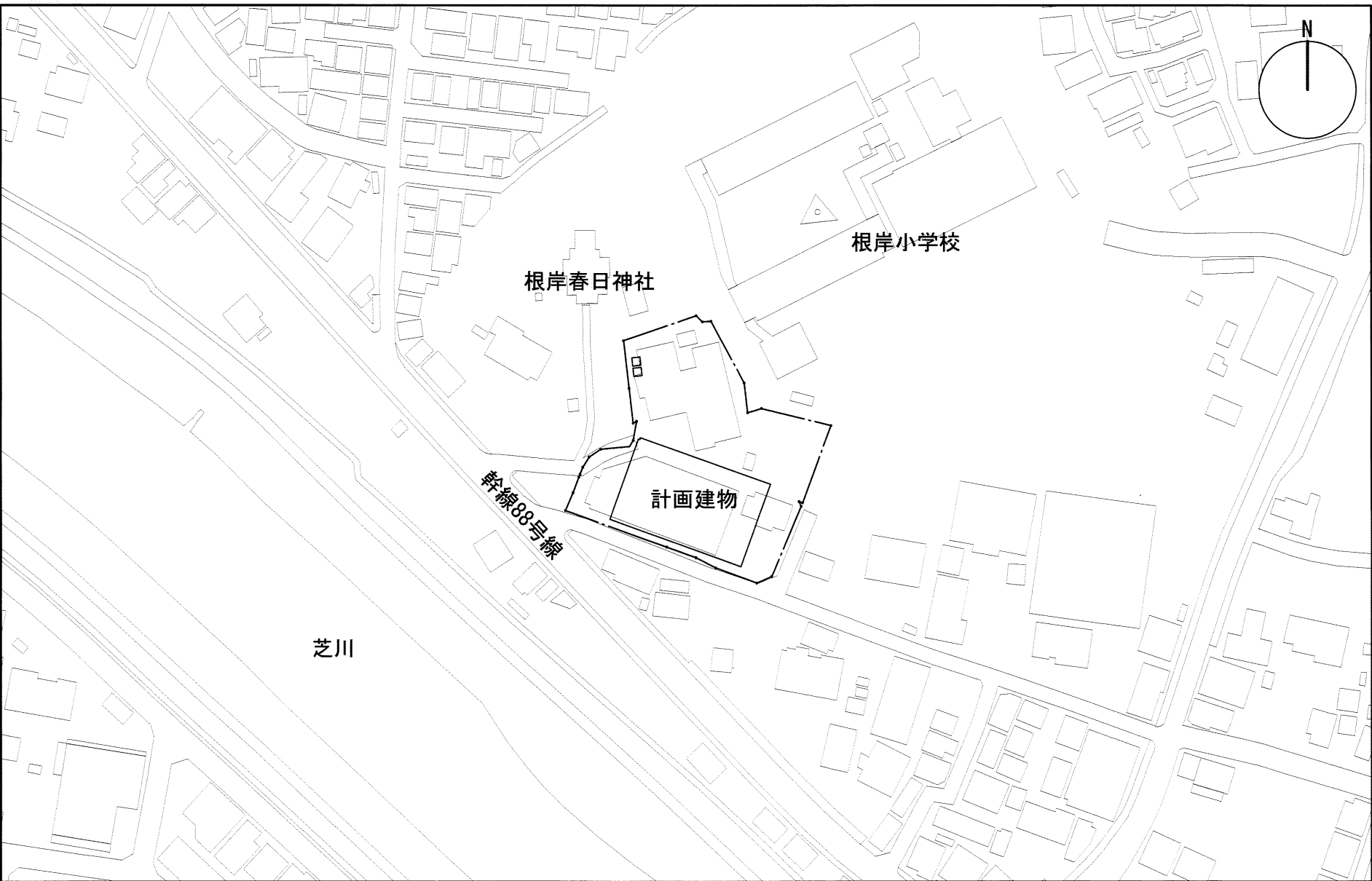
項 目	工事区分	建築工事		電気工事		設備工事		別 途 工 事	備 考
		本体工事	外構工事	電気 設備工事	昇降機 設備工事	給・衛 設備工事	空調換気 設備工事		
5. 機械室の防音、遮音処理		○							機器本体の防音、遮音処理は各工事
6. 機器配管取付け後の壁、床等の補修				○		○	○		仕上は建築工事
7. 保守管理用タラップ、梯子		○							
8. 配管・配線用ビット及び塞		○							蓋の切開共。但し墨出しは各設備工事
9. 二重床（フリーアクセスフロアー）及び配管配線用開口		○							開口墨出しは各設備工事
10. 設備機器用天井フック又はビーム		○							位置墨出しは各設備工事
11. 地下各種水槽及びビットの躯体（タラップ・マンホール含む）		○							
12. 空調機及び全熱交換器と操作スイッチとの渡り配管配線							○		1次側電源供給・接続は電気設備工事
13. 空調機の屋内外機との渡り配線							○		1次側電源供給・接続は電気設備工事
14. 空調機と集中制御盤との渡り配管配線							○		
15. 同上集中制御盤							○		
16. 空調機の遠隔操作用・故障警備用リレー・端子の取付							○		
17. 換気扇、天井扇への電源供給及びスイッチの取付				○					
18. 動力制御盤、一般制御盤、電動機端子までの電気配管配線				○					
19. 機器附属制御盤、二次側電気配管配線						○			
20. 各種機器の接地工事				○					
21. 耐震補強				○	○	○	○		
6. 昇降機									
1. 各階出入口三方枠及びインジケーター操作盤取付け用仮枠穴あけ		○		○					
2. 昇降機設備本体（出入口3方枠・幕板・インジケーターを含む）					○				取付け後の壁の補修及び穴埋め防火区画処理
3. 各階敷居板持出し					○				
4. 各階出入口取付け後床及び壁仕上		○		○					
5. 機械室天井機器搬入用フック				○	○				取付材は、電気設備(EV工事)とする。
6. 動力、カゴ照明用電源及びアース線の一次側供給				○					
7. インターホン用配管配線				○					
8. ビット内コンセント設置				○					EVシャフトから職員室までの配管配線
9. 乗務放送用線引き込み工事				○					
10. ビット内防水		○		○					
11. ビット内タラップ					○				
12. 各階案内板		○		○					
13. 昇降機に関わる建築確認の手続き、申請書作成					○				
7. その他									
1. カーテン、ブラインド、暗幕（一部分）		○							カーテンレールは建築工事とする。
2. カーテン、ブラインド、暗幕用ボックス取付（レール付）		○							
3. 舞台機構一式		○							
4. 同上1次側電源工事				○					
5. 実験用家具		○							電気及び給排水管、接続共
6. 作り付け家具		○							排水トラップ共、配管配線及び給排水配管接続は各設備工事、水栓等を含む
7. サイン工事		○							
8. サイン取付用補強材・下地組		○							
9. 諸官庁手続き及び検査立会		○		○	○	○	○		申請書作成、申請手続、申請手続費含む
10. 統括安全衛生責任		○							
11. 備品家具の移動・設置		○							
8. 共通事項									
1. 工事用電力・上下水道引込工事		○	○	○		○	○		
2. 工事用電力・上下水道使用料金		○	○	○		○	○		(引込負担金・基本料金含む) 使用工事別
3. 本設電力引込工事				○					
4. 本設上水引込工事						○			
5. 本設下水接続工事						○			
6. 本設引渡しまでの電力基本料金及び使用料金		○	○	○		○	○		試運転用も含む、基本料金は、電気設備に含む
7. 本設引渡しまでの上水基本料金及び使用料金		○	○	○		○	○		試運転用も含む、基本料金は、給・衛設備に含む
8. 本設引渡しまでの下水基本料金及び使用料金		○	○	○		○	○		試運転用も含む、基本料金は、給・衛設備に含む
9. 本設引渡しまでのガス基本料金及び使用料金			○	○		○	○		
10. 電話本設引込配管工事				○					
11. 工事上の各種申請届出用雑費用		○	○	○		○	○		
12. 現場事務所借家賃賃料（施工者用事務所、監理事務所、定例会議場、駐車場他含む）		○	○	○		○	○		
13. 電柱移設撤去負担金				○					

一級建築士事務所 東京都登録第4539号

 株式会社 楠山設計
東京都千代田区神田小川町3-20

意匠設計	一級建築士登録第 301497 号 高 橋 徹	DATE 2025. 03. 31	決 裁 印		TITLE 根岸公民館改築工事	SCALE A3: 1/50 A4: 1/100		
	一級建築士登録第 271669 号 構造設計一級建築士登録第 6676 号 飯 屋 面 耕 一				SUBTITLE 工事区分表			
構造設計					APPROVE BY	CHECKED BY	DRAWN BY	DRAWN NO.
								設計図 意匠 A - 010

■ 案内図 : S=1/1500 (A1)

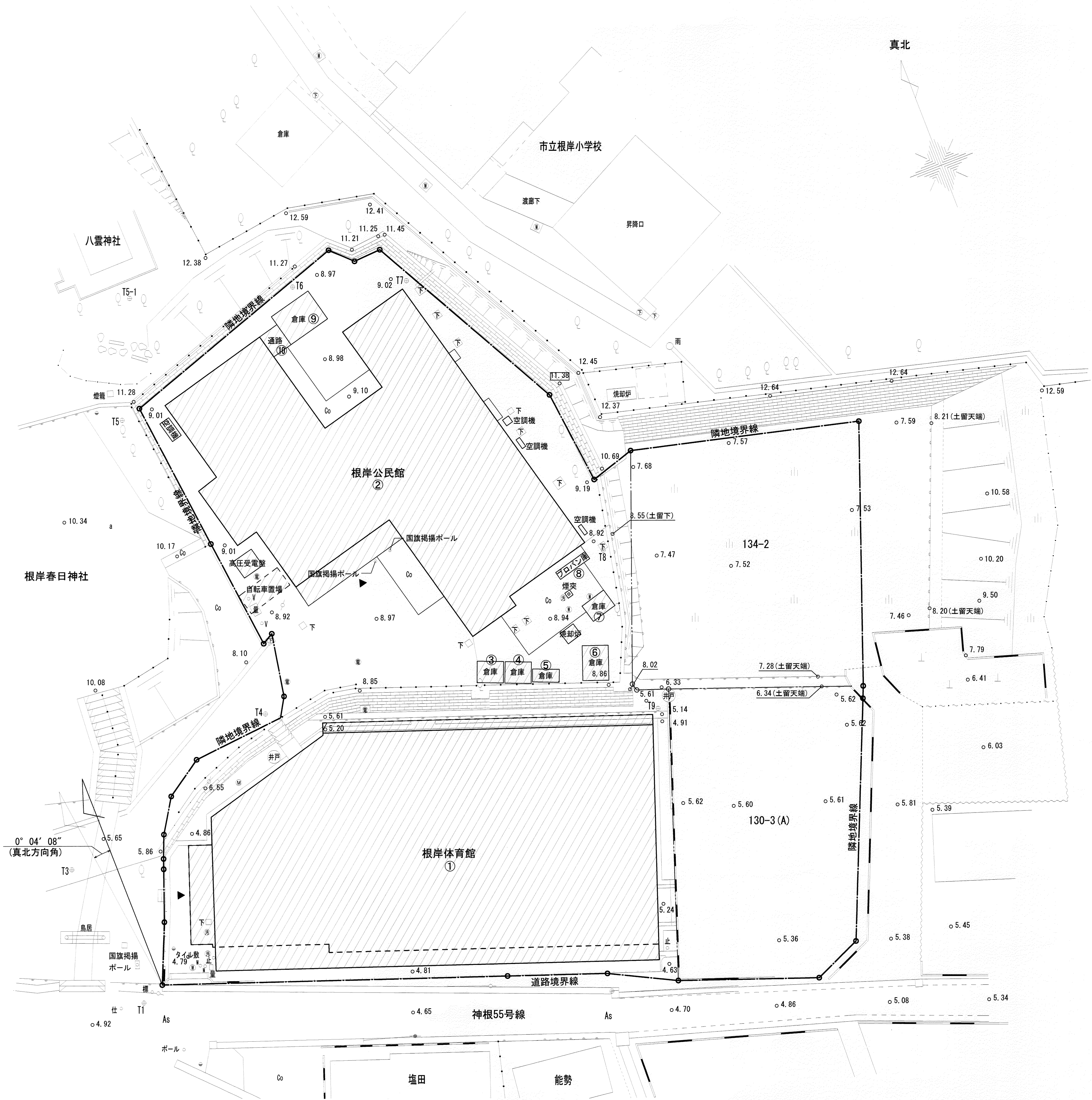


■ 解体建物リスト

No.	建物名称	構造・規模	延床面積	備考
①	根岸体育館	鉄骨造/2階建て	786.06㎡	昭和60年竣工
②	根岸公民館	木造一部鉄骨造/平屋建て	474.70㎡	昭和43年竣工
③	倉庫			
④	倉庫			
⑤	倉庫			
⑥	倉庫			
⑦	倉庫			
⑧	プロパン庫			
⑨	倉庫			
⑩	通路			

■ 凡例

▼	建物出入口		側溝, 暗渠
	解体建物(基礎共)		細 流
	敷地境界線		耕地界
	高さ測量測点(標高)		水 田
	基準点		畑
	BM. 水準点		独立樹
	境界石		園 庭
	既存擁壁		針葉樹林
	垣久堀		広葉樹林
	木・トシ堀		その他の樹木畑
	垣 堀		荒地
	生 垣		湿地
	防護柵		斜地
	石 積		崩土
	コンクリート壁		墓地
	各マテリアル		資材置場
	各種柱		芝地
	各種標識		
	電力柱		
	電話柱		
	街灯		



一級建築士事務所 東京都登録第4539号

株式会社 楠山設計
東京都千代田区神田小川町3-20

意匠設計

一級建築士登録第 301497 号
高 橋 徹

構造設計

一級建築士登録第 271669 号
構造設計一級建築士登録第 6676 号
飯 屋 園 耕 一

DATE

2025. 03. 31

決
裁
印



TITLE
根岸公民館改築工事

SUBTITLE
現況敷地図

APPROVE BY

CHECKED BY

DRAWN BY

SCALE
A1 : 1/200
A3 : 1/400

DRAWN NO.

設計図 意匠 A - 011

地 點	番 点	公 民 館	面 積	距 離	
K23		-17459.996	-10626.595	-17597.643200	3.883
YD469		-17460.681	-10630.417	-17485.109513	7.97
YD467		-17452.707	-10630.392	-269193.416616	18.649
YD466		-17435.358	-10637.233	-186045.205170	2.315
YD464		-17435.217	-10639.544	-20917.343504	2.352
YD465		-17433.392	-10641.028	-25538.467200	20.600
YD463		-17437.617	-10661.190	-181144.279290	12.766
YD462		-17450.383	-10661.233	-236412.841775	9.403
YD460		-17459.792	-10661.240	-95887.192560	1.07
SP		-17459.377	-10660.253	-45763.381510	5.319
S80		-17464.462	-10661.812	-136162.001052	16.381
P139		-17472.148	-10647.346	-88415.561184	1.319
P141		-17472.766	-10646.181	-54220.999833	11.646
SP125		-17477.241	-10635.627	-135816.956790	19.467
			偕 面 積	2130.279611	
			面 積	1065.1398055	
			地 積	1065.13	m ²

地 番 点	128			
測	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn)·Yn	距 離
PT39	-17472.148	-10647.346	202704.173148	12.748
PT35	-17483.500	-10653.341	31.0252518	26.722
PT37	-17472.442	-10677.474	-126186.387732	0.857
MC143	-17471.682	-10677.079	-269596244.75	2.015
SP77	-17469.917	-10676.106	-48832.523058	3.251
SP78	-17467.389	-10674.062	-45183.304446	3.725
SP79	-17465.684	-10670.750	-15888.746750	7.835
SP81	-17465.900	-10662.918	-13030.085796	1.814
SP80	-17464.462	-10661.812	66615.001376	16.381
		偏 面 積	-6294.72515	
		面 積	314.7362575	
		地 積	314.73	m ²

地 點	129				距 離
P135	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn)Yn		2,000
P134	-17483.508	-10653147	126623.305242		10.715
P133	-17484.322	-10651326	109825.822386		28.874
SC45	-17493.811	-10656.315	-36583.129393		5.235
SC144	-17480.895	-10682.139	-186.349.914855		4.422
P137	-17476.366	-10679.513	-902.73.923387		26.722
	-17472.442	-10677.474	76173.099516		
		佔 面 積	-584.740495		
		地 積	292.3702475		
			292.37	m ²	

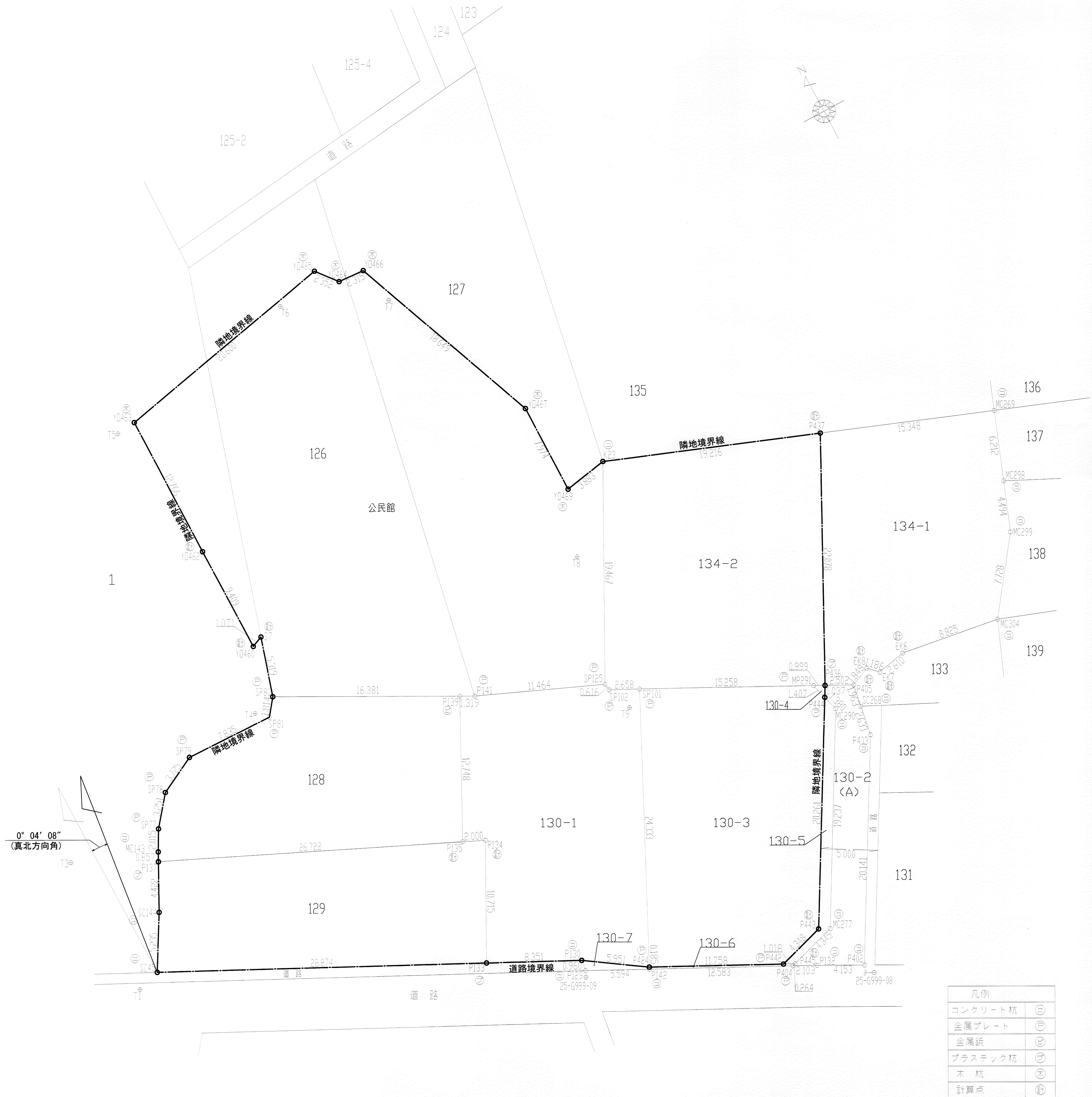
地 點	測 點	X_n	Y_n	$(X_{n+1} - X_n)Y_n$	距 離
SP125		-17477.241	-10635.627	54071527668	0.616
SP102		-17477.850	-10635.533	19058875136	2.658
SP101		-17479.033	-10633.153	246490116836	24.333
P424		-17500.862	-10643.904	197061238656	5.951
P130		-17497.547	-10648.846	-75085.013146	8.351
P133		-17493.811	-10656.315	-140865.827985	10.715
P134		-17484.328	-10651.326	-109825.822386	2.000
P135		-17483.500	-10653.147	-129755.330460	12.748
P139		-17472.148	-10647.346	-114288.611964	1.319
P141		-17472.766	-10646.181	54220.999833	11.464
	倍 面 積			-171847812	
	地 面 積			358.9239060	
				358.92	m ²

地 番 点	130-3				
SP101	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn)Yn	距 離	
P424	-17479.033	-10633.153	158168.150875	24.333	
P442	-17500.862	-10643.904	288960.755792	11.738	
P443	-17506.181	-10633.418	43288.644578	4.348	
P444	-17504.933	-10629.253	200233.868014	20.261	
MP291	-17487.343	-10619.198	-201191.325308	1.407	
	-17485.987	-10619.572	-88248.643320	15.258	
		借 面 積	743.664703		
		面 積	371.8323515		
		地 積	371.83	m ²	

地 點	134-2				
	$\bar{X}_n$	Y_n	$(X_{n+1} - \bar{X}_n)Y_n$	距 離	
K23	-17459.996	-10626.595	111047.917750	19.467	
SP125	-17477.241	-10635.627	189888.484458	0.616	
SP102	-17477.850	-10635.533	190587.75136	2.658	
SP101	-17479.033	-10633.153	86561.965961	15.258	
MP291	-17485.987	-10619.572	18691.028520	0.999	
P436	-17486.443	-10618.683	-203836.238868	22.078	
P437	-17466.791	-10608.621	-280566.199587	19.216	
		係	805.833370		
		面	402.9166850		
		地	402.91		m ²

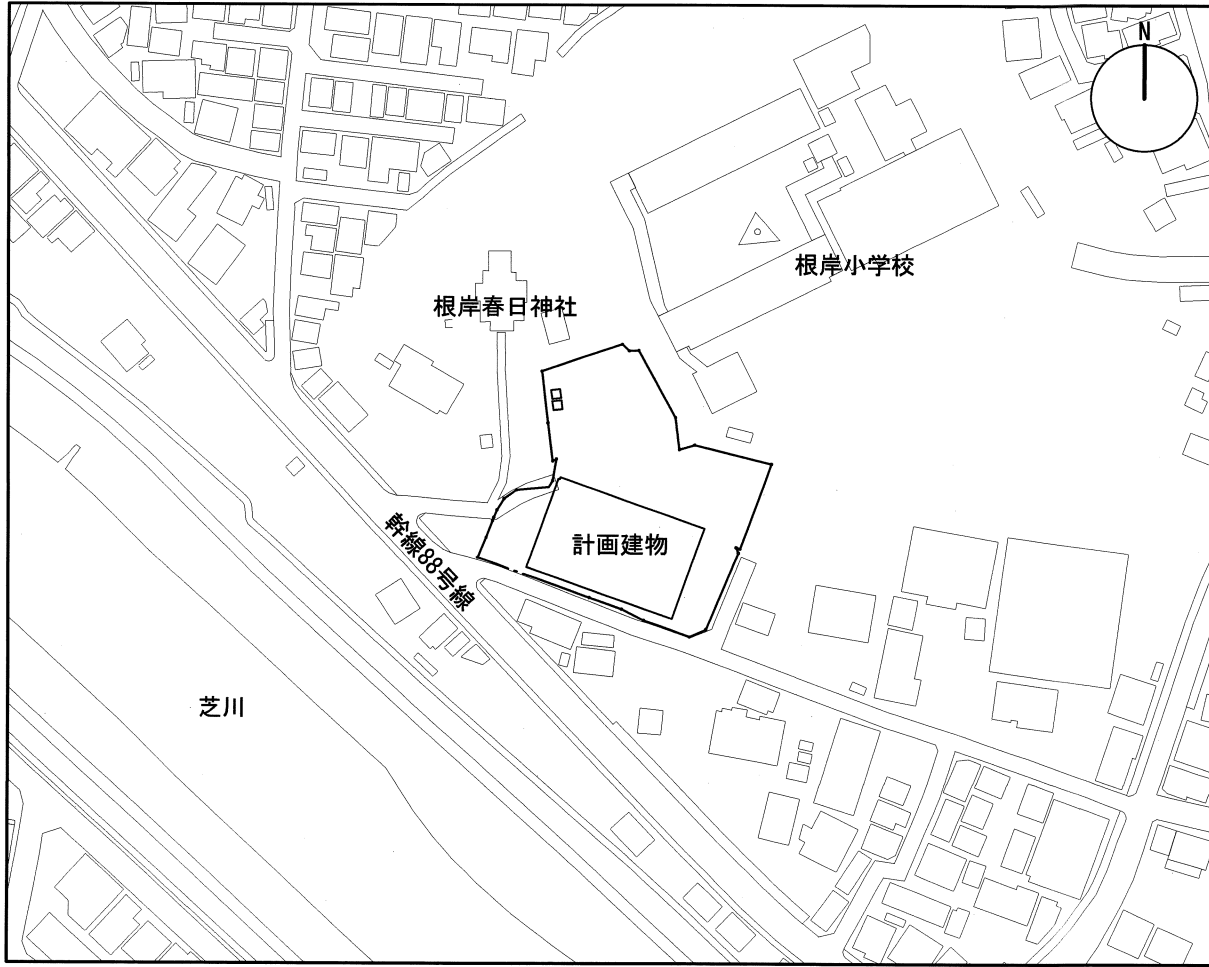
测点	X_n	Y_n	$(X_{n+1} - X_n)Y_n$	距离
MP291	-17485.987	-10619.572	9557.614800	1.407
P444	-17487.343	-10619.198	4832.35288	1.037
P436	-17486.443	-10618.683	-14398.93418	0.999
		估值	1.034940	
		面	0.5174700	
		地	0.51	m^2

面積合計	2806.40㎡
------	----------



凡例	
コンクリート杭	㊦
金属プレート	㊧
金属錠	㊨
プラスチック杭	㊩
木杭	㊪
計算点	㊫

■ 建築地案内図



■ 計画概要

業務名称	根岸公民館改築工事(公民館及び体育館改築工事)
建築地	埼玉県川口市大字安行領根岸字谷下128、129、130-1、130-3、130-4、134-2並びに1、126、127番地の一部
敷地面積	2,806.40㎡
用途地域	第二種中高層住居専用地域
建蔽率	60% (1,683.84㎡)
容積率	200% (5,612.80㎡)
日影規制	測定面 平均地盤面からの高さから4m 日影規制値 5mライン規制値4時間以上 10mライン規制値2.5時間以上
防火地域	建築基準法22条指定区域
接道状況	市道 神根第55号線(幅員3.6~5.2m) ※敷地東側に新たに位置指定道路が設けられる予定である。

■ 建物概要

	計画建物①	計画建物②	計画建物③
建物用途	1階:公民館(08550) 2階:体育館(08380)	倉庫業を営まない倉庫 (08520)	倉庫業を営まない倉庫 (08520)
防火対象物	(16)項イ 複合用途防火対象物	(14)項 倉庫	(14)項 倉庫
工事種別	新築工事	新築工事	新築工事
建築面積	762.38㎡	4.88㎡	4.88㎡
延床面積	1257.80㎡	4.88㎡	4.88㎡
最高高さ	14.125m	2.235m	2.235m
最高軒高	10.425m	-	-
階数	3階建て	平屋建て	平屋建て
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨造	鉄骨造

<備考>
・最高高さ、最高軒高の数値は各建物の平均地盤面からの高さを示す。
・敷地内の舗装は滑りにくい材料で仕上げること。

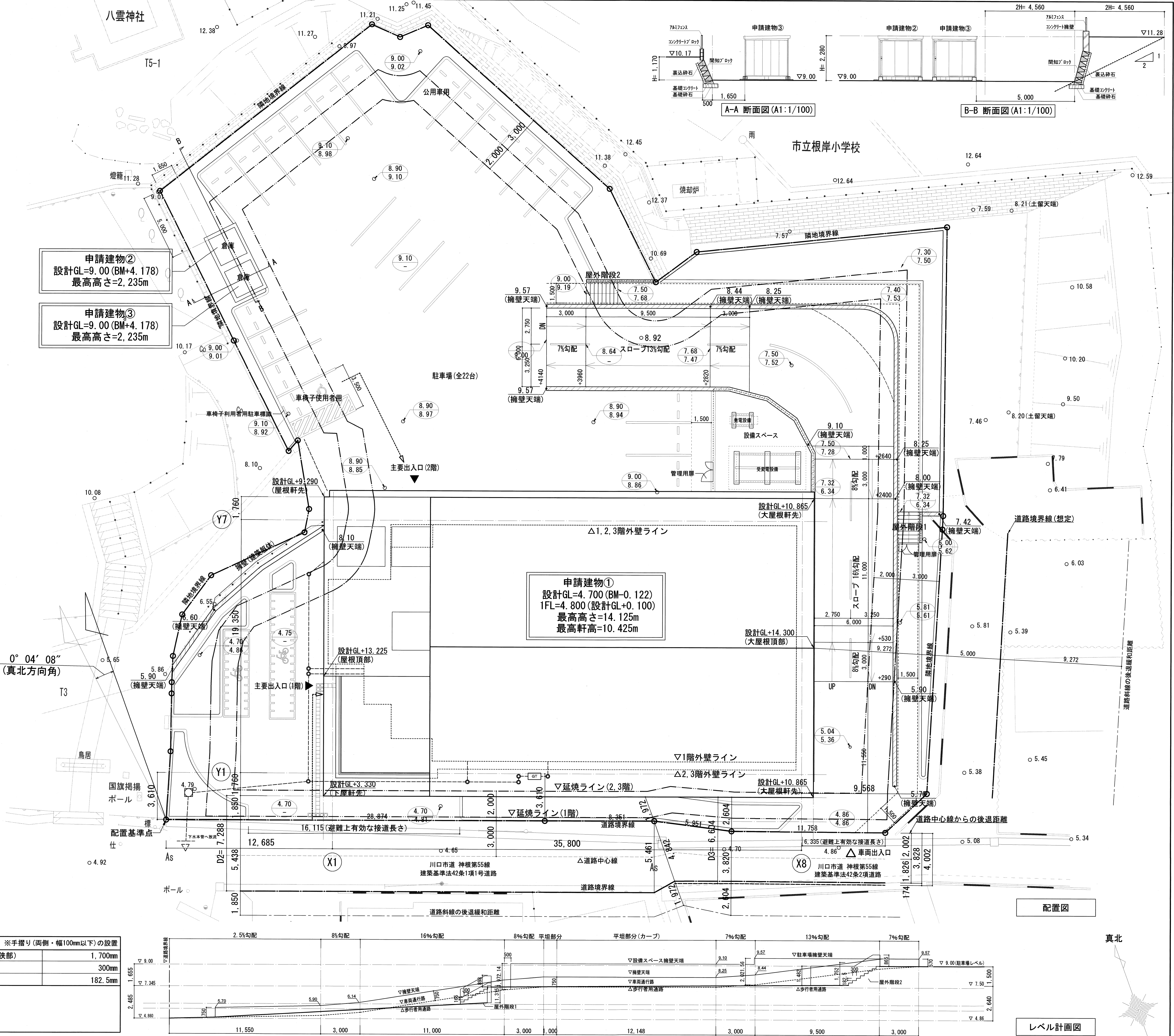
■ 凡例

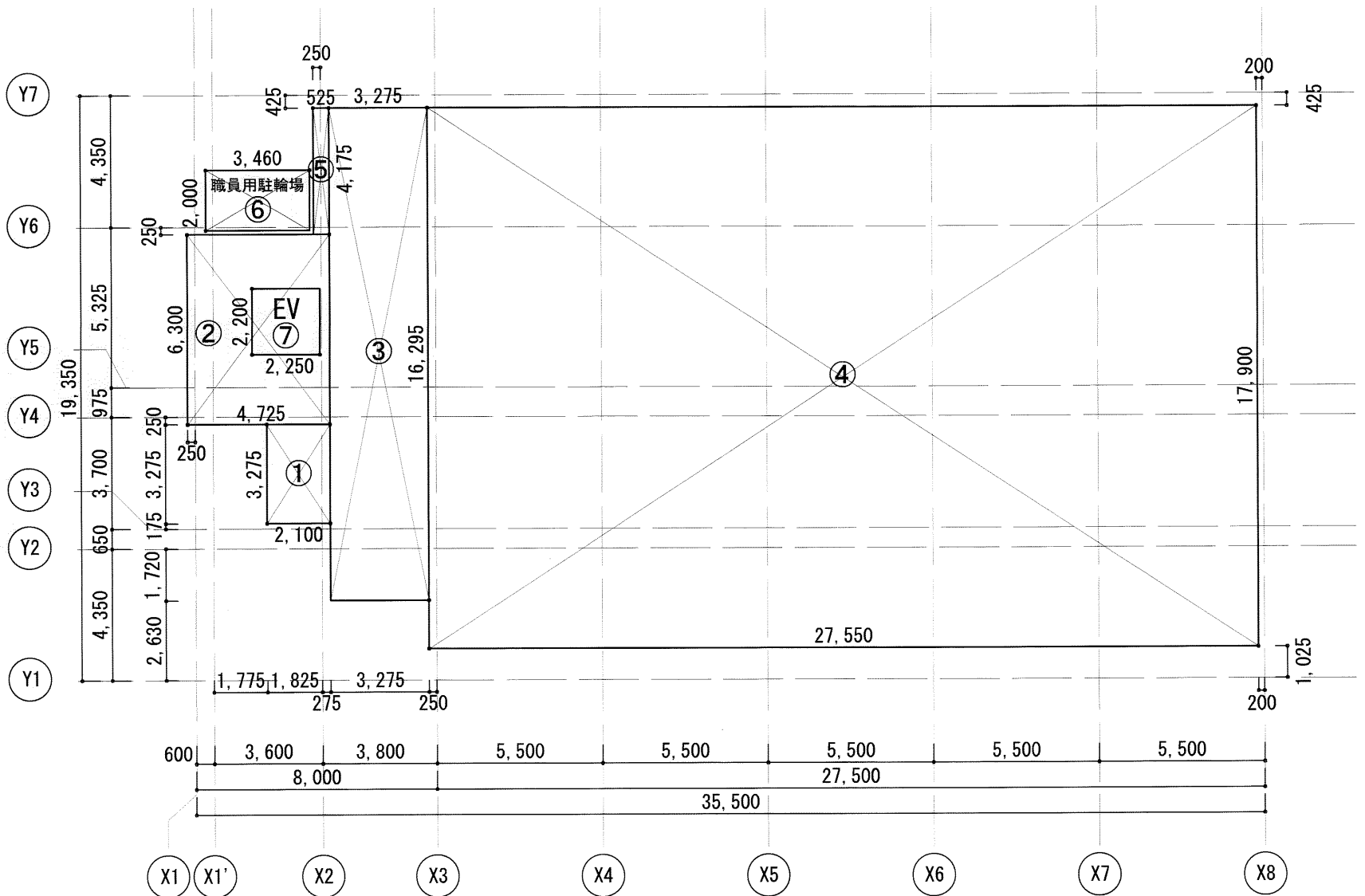
建物出入口	▼
建物高さ (測定箇所)	00.00 (****)
擁壁高さ(レベル) (測定箇所)	00.00 (****)
計画レベル 現況レベル	0.00 0.00
敷地周辺レベル	00.00
擁壁	////
排水経路	----
排水樹	○
グリーストラップ	GT
敷地内通路	-----▶

屋外階段寸法

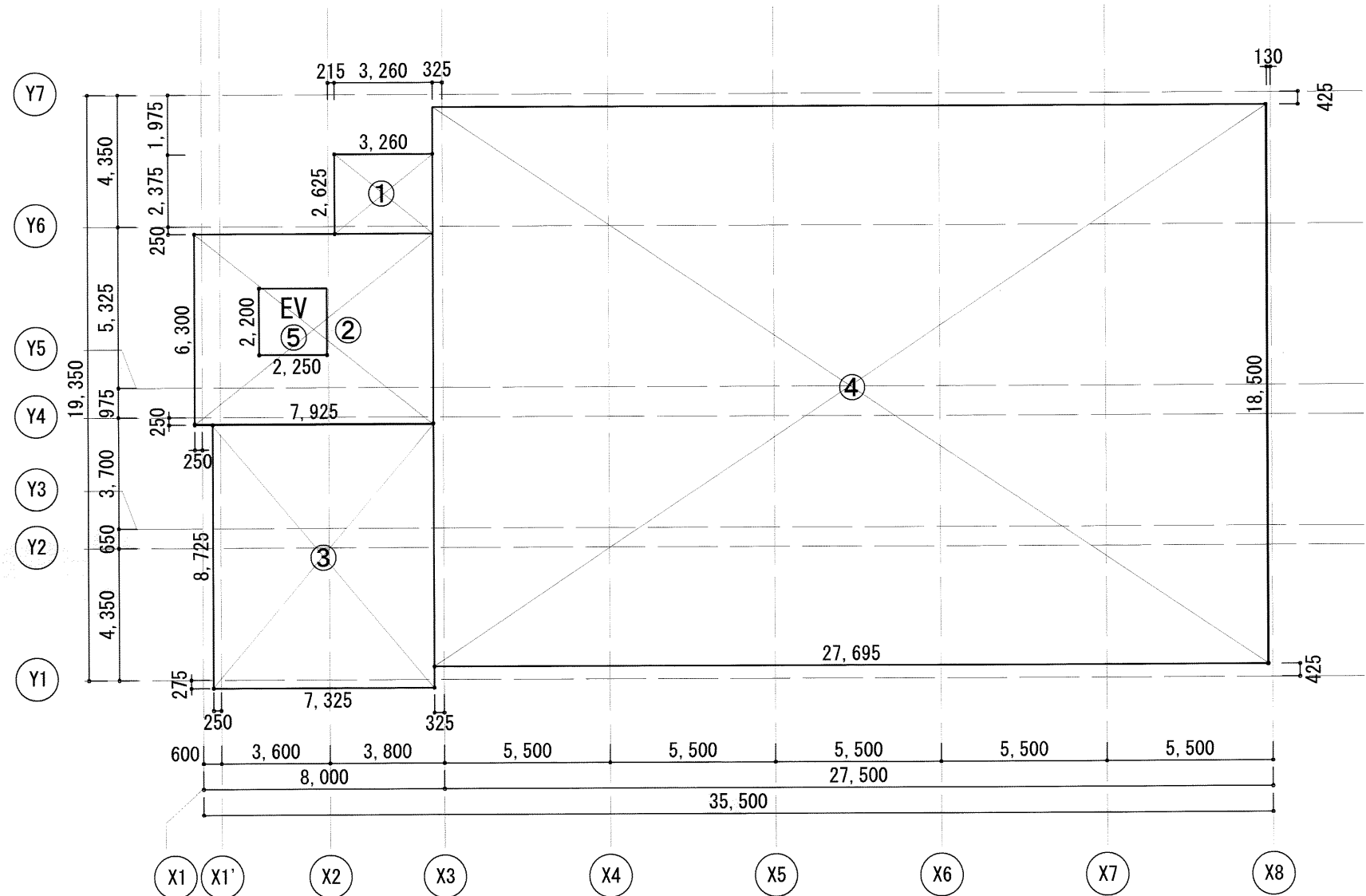
屋外階段1 ※手摺り(両側・幅100mm以下)の設置	屋外階段2 ※手摺り(両側・幅100mm以下)の設置
階段幅(最狭部)	1,700mm
踏面	300mm
蹴上	165mm

<備考>
・階段の踏面仕上げは滑りにくい材料とする。
・階段の踏面は容易に識別できるものとする。
・階段はつまづきにくいものとする。

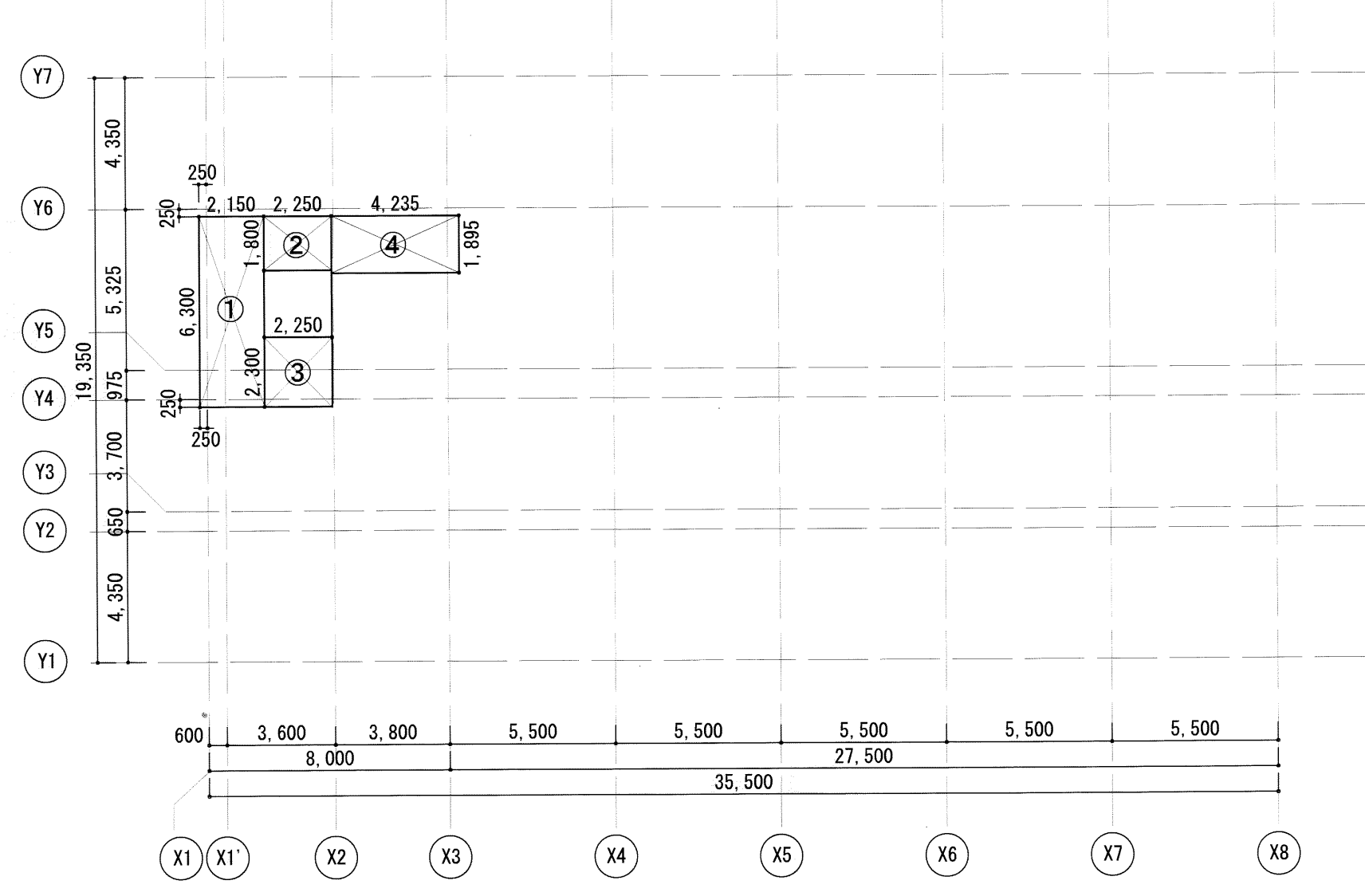




1階求積図



2階求積図



3階求積図

■ 申請建物① 1階 床面積表

符号		計算式		面積
①	2.100	×	3.275	6.87750000
②	4.725	×	6.300	29.76750000
③	3.275	×	16.295	53.36612500
④	27.550	×	17.900	493.14500000
⑤	0.525	×	4.175	2.19187500
⑥	3.460	×	2.000	6.92000000
合計				592.26900000
容積対象外面積(エレベーターの昇降路の部分)				
⑦	2.250	×	2.200	4.95000000
合計				4.95000000
容積対象外面積(駐車(駐輪)場等の面積)				
	3.460	×	2.000	6.92000000
合計				6.92000000

・ 令第2条4項による駐車(駐輪)場等の容積率算定時の緩和
駐車(駐輪)場等の面積 = 6.92㎡
延床面積 = 1,267.80㎡
延床面積 / 5 = 253.56㎡
※上記より駐車(駐輪)場等の面積は容積対象外面積に含める。

■ 申請建物① 2階 床面積表

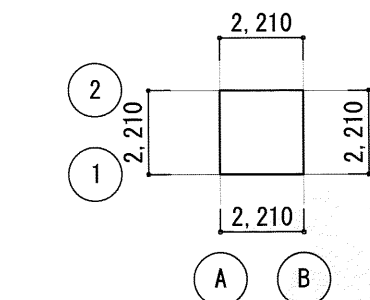
符号	計算式			面積
①	3.260	×	2.625	8.55750000
②	7.925	×	6.300	49.92750000
③	7.325	×	8.725	63.91062500
④	27.695	×	18.500	512.35750000
合計				634.75312500
容積対象外面積(エレベーターの昇降路の部分)				
⑤	2.250	×	2.200	4.95000000
合計				4.95000000

■ 申請建物① 3階 床面積表

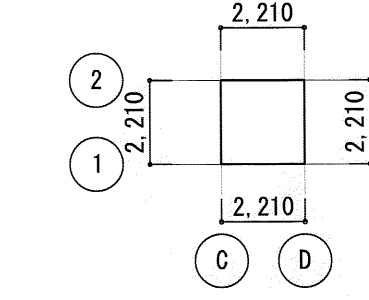
符号	計算式			面積
①	2.150	×	6.300	13.54500000
②	2.250	×	1.800	4.05000000
③	2.250	×	2.300	5.17500000
④	4.235	×	1.895	8.02532500
合計				30.79532500

■ 申請建物① 延床面積合計

階数	容積対象面積	容積対象外面積	延床面積
1階	580.39	11.87	592.26
2階	629.80	4.95	634.75
3階	30.79	-	30.79
合計	1,240.98	16.82	1,257.80



申請建物② 求積図



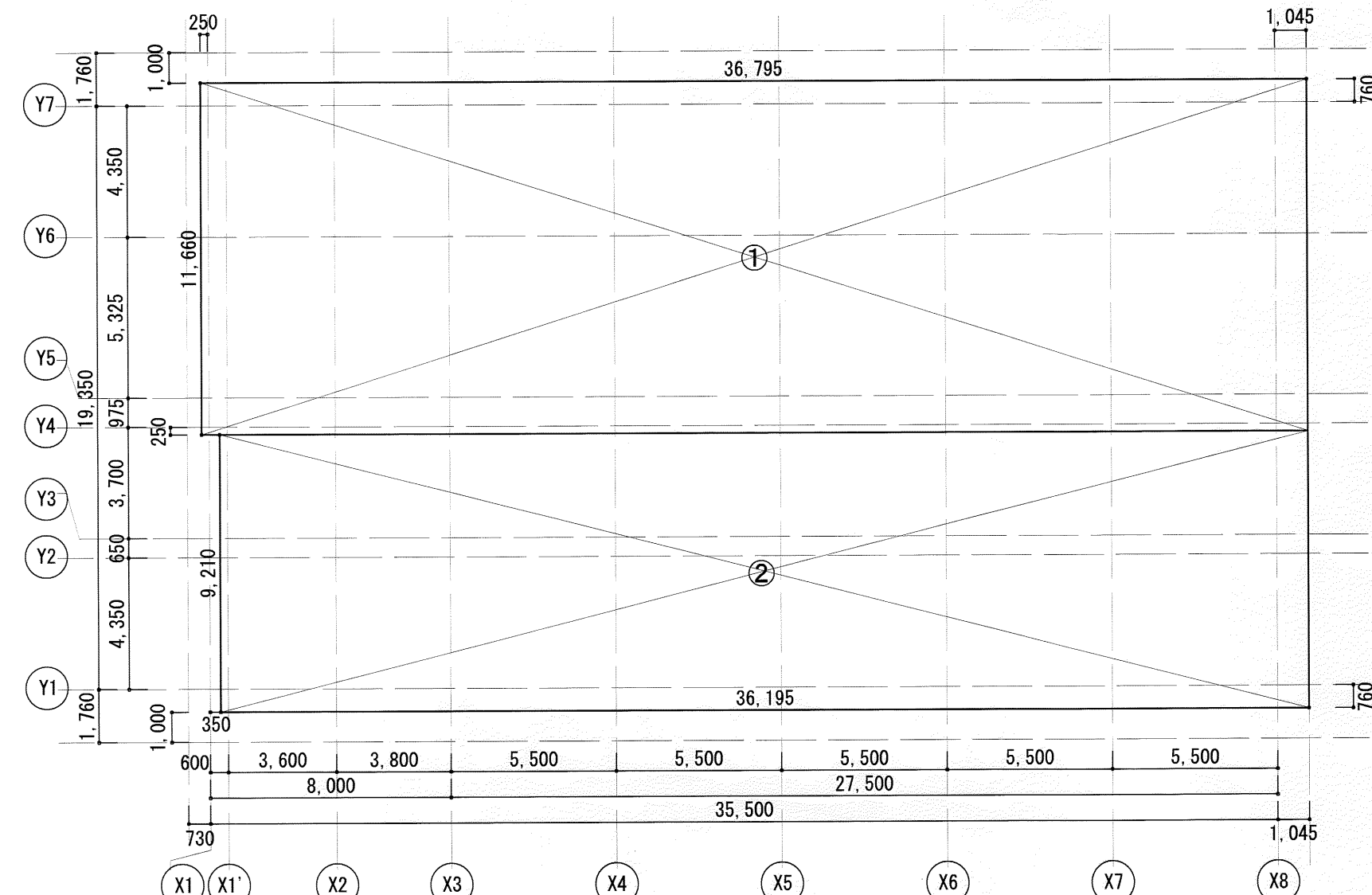
申請建物③ 求積図

■ 申請建物② 床面積表(㎡)

階数	容積対象面積	容積対象外面積	延床面積
1階	4.88	-	4.88
合計	4.88	-	4.88

■ 申請建物③ 床面積表(㎡)

階数	容積対象面積	容積対象外面積	延床面積
1階	4.88	-	4.88
合計	4.88	-	4.88



申請建物① 求積図

■ 延床面積合計(㎡)

申請建物	容積対象面積	容積対象外面積	延床面積
①	1,240.98	16.82	1,257.80
②	4.88	-	4.88
③	4.88	-	4.88
合計	1,250.74	16.82	1,267.56

■ 容積率算定(㎡)

敷地面積 = 2,806.40㎡
容積率対象面積 = 1,250.74㎡
容積率 = (1,250.74 / 2,806.40) x 100 = 44.57%

■ 申請建物① 建築面積表

符号	計算式			面積
①	36.795		11.660	429.02970000
②	36.195	×	9.210	333.35595000
合計				762.38565000

■ 申請建物② 建築面積表

符号	計算式			面積
①	2.210	×	2.210	4.88410000
合計				4.88410000

■ 申請建物③ 建築面積表

符号	計算式			面積
①	2.210	×	2.210	4.88410000
合計				4.88410000

■ 建築面積合計

申請建物	建築面積
①	762.38
②	4.88
③	4.88
合計	772.14

■ 建蔽率算定

敷地面積 = 2,806.40㎡
建築面積 = 772.14㎡
建蔽率 = (772.14 / 2,806.40) x 100 = 27.52%

一級建築士事務所 東京都登録第4539号

株式会社 楠山設計
東京都千代田区神田小川町3-20

意匠設計

一級建築士登録第 301497 号
高橋 徹

構造設計

一級建築士登録第 271669 号
構造設計一級建築士登録第 6676 号
飯屋 園 耕 一

DATE

2025.03.30

決
裁
印



TITLE
根岸公民館改築工事

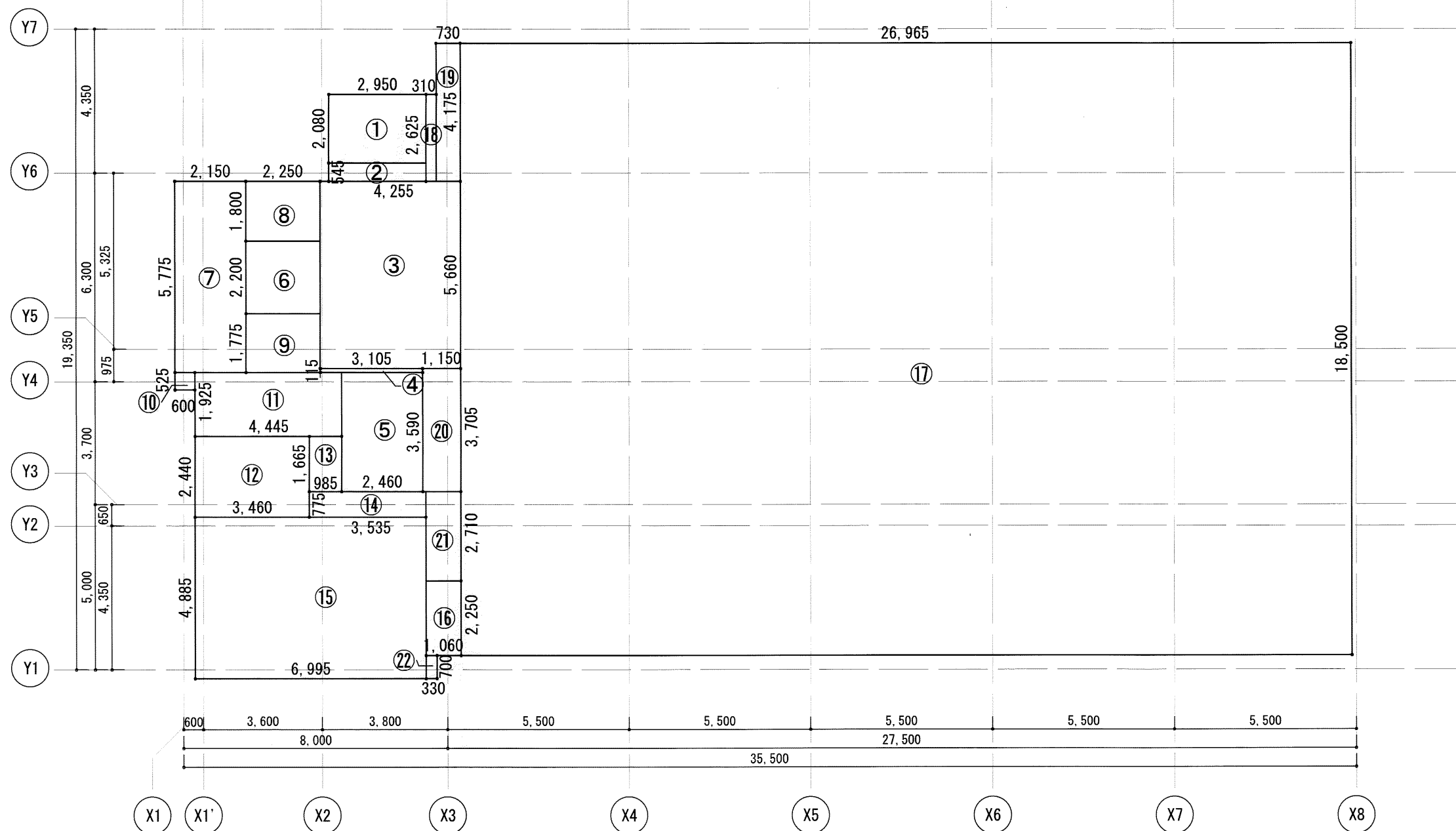
SUBTITLE
建築面積・延べ面積 求積表

APPROVE BY CHECKED BY DRAWN BY

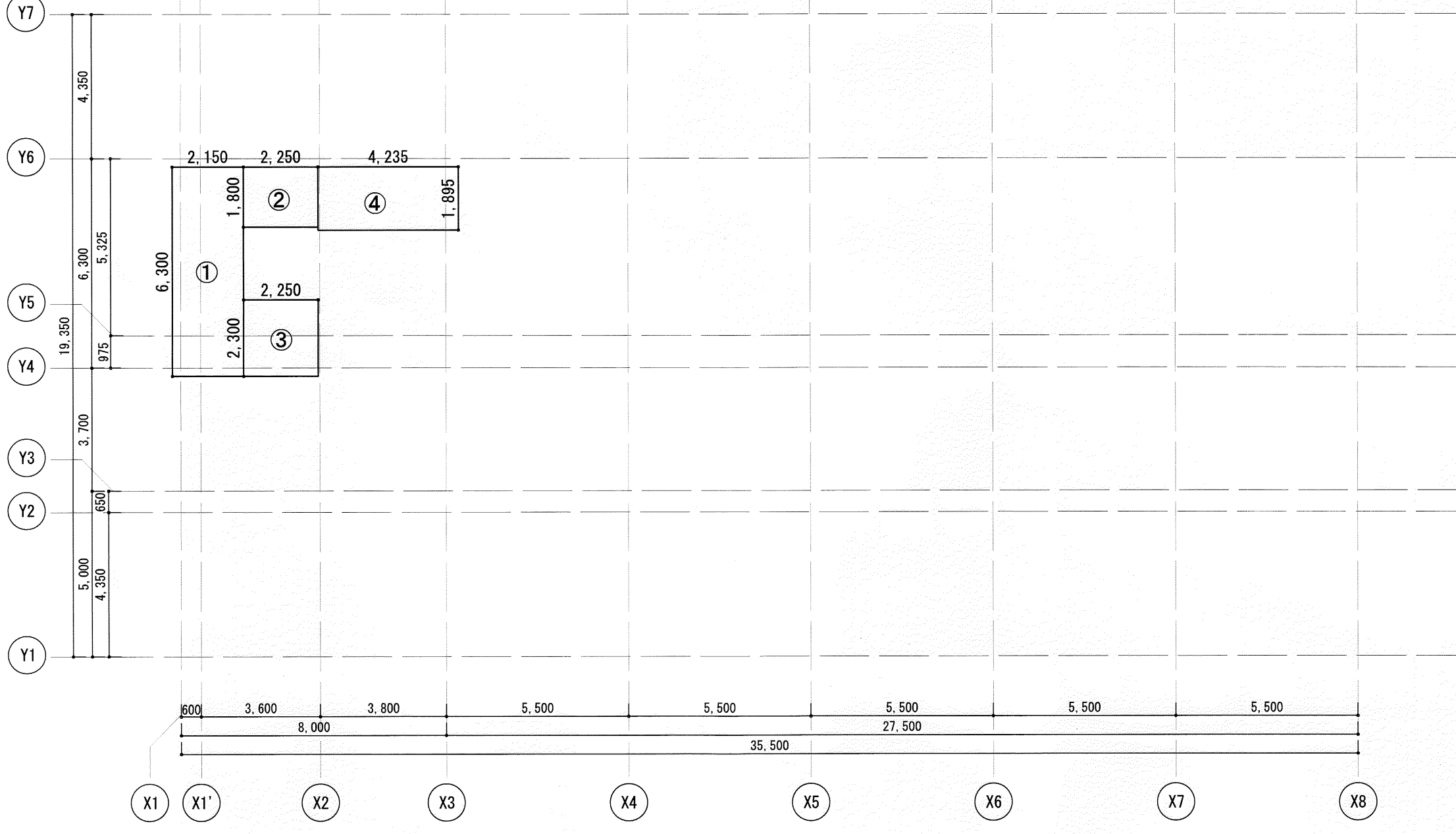
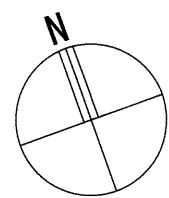
SCALE
A1: 1/200
A3: 1/400

DRAWN NO.

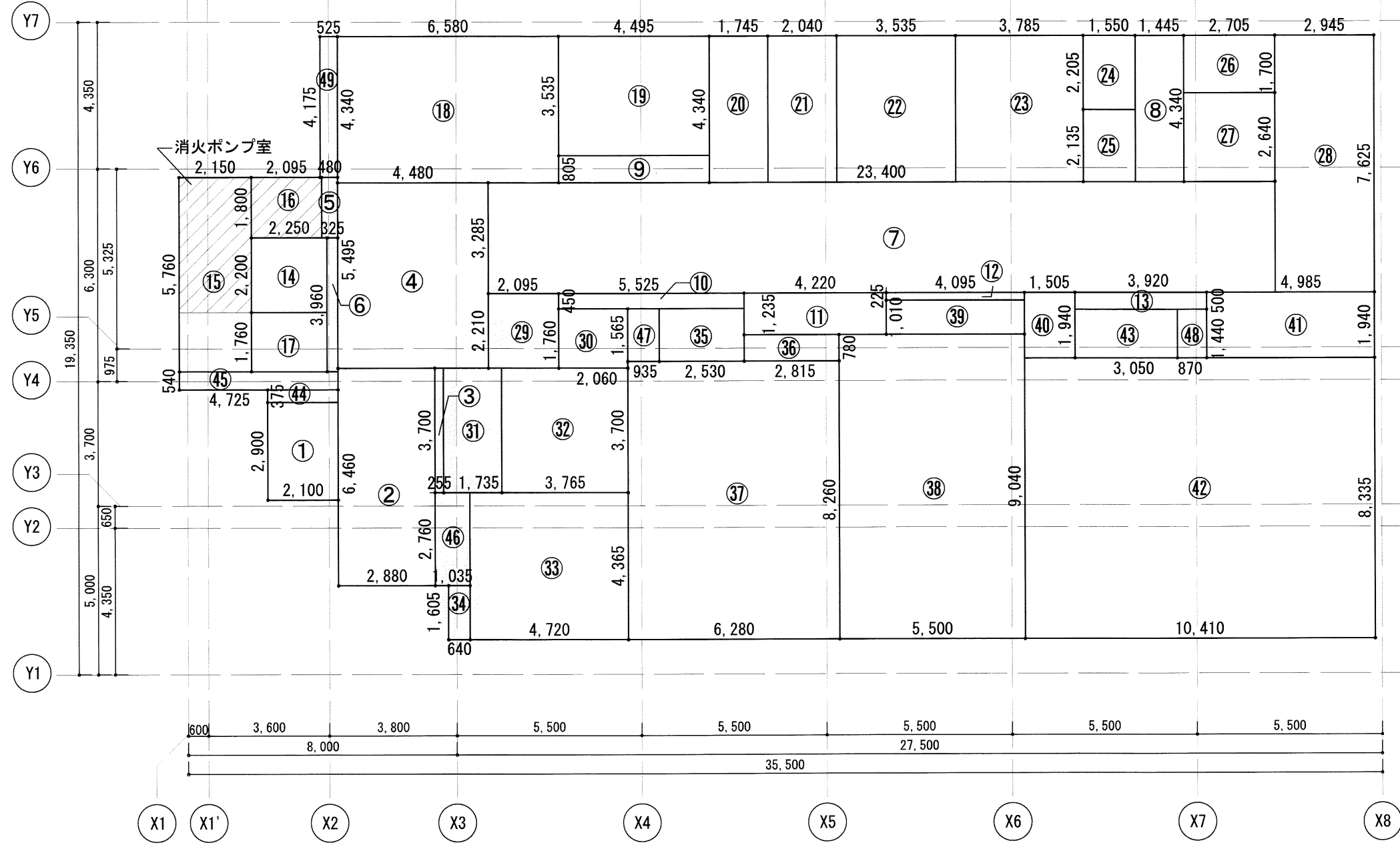
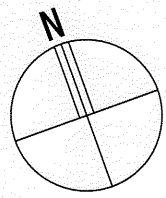
設計図 意匠 A-014



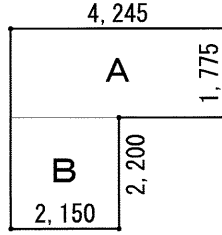
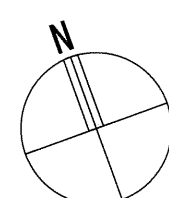
2階求積図



3階求積図



1階求積図



消火ポンプ室求積図

■ 1階室面積計算表

室名	番号	計算式	面積	合計
風除室 (1)	1	2.100 × 2.900 =	6.09000000	6.09
ホール (1)	2	2.880 × 6.460 =	18.60480000	
	3	0.255 × 3.700 =	0.94350000	
	4	4.480 × 5.495 =	24.61760000	
	5	0.480 × 1.800 =	0.86400000	
	6	0.325 × 3.960 =	1.28700000	
廊下	7	23.400 × 3.285 =	76.86900000	46.31
	8	1.445 × 4.340 =	6.27130000	
	9	4.495 × 0.805 =	3.61847500	
	10	5.525 × 0.450 =	2.48625000	
	11	4.220 × 1.235 =	5.21170000	
	12	4.095 × 0.225 =	0.92137500	
階段室	13	0.500 × 3.920 =	1.96000000	97.33
	14	2.250 × 2.200 =	4.95000000	
	15	2.150 × 5.760 =	12.38400000	
	16	2.095 × 1.800 =	3.77100000	
	17	2.250 × 1.760 =	3.96000000	
	18	6.580 × 4.340 =	28.55720000	
事務室	19	4.495 × 3.535 =	15.88882500	46.63
	49	0.525 × 4.175 =	2.19187500	
印刷室	20	1.745 × 4.340 =	7.57330000	7.57
業務員室	21	2.040 × 4.340 =	8.85360000	8.85
男子トイレ (1)	22	3.535 × 4.340 =	15.34190000	15.34
女子トイレ (1)	23	3.785 × 4.340 =	16.42690000	16.42
女子更衣室	24	1.550 × 2.205 =	3.41775000	3.41
男子更衣室	25	1.550 × 2.135 =	3.30925000	3.30
授乳室	26	2.705 × 1.700 =	4.59850000	4.59
多目的トイレ	27	2.705 × 2.640 =	7.14120000	7.14
倉庫	28	2.945 × 7.625 =	22.45625000	22.45
階段	29	2.095 × 2.210 =	4.62995000	4.62
給湯室	30	2.060 × 1.760 =	3.62560000	3.62
押入	31	1.735 × 3.700 =	6.41950000	6.41
日本間	32	3.765 × 3.700 =	13.93050000	35.56
	33	4.720 × 4.365 =	20.60280000	
	34	0.640 × 1.605 =	1.02720000	
料理実習室	35	2.530 × 1.565 =	3.95945000	58.02
	36	2.815 × 0.780 =	2.19570000	
	37	6.280 × 8.260 =	51.87280000	
	38	5.500 × 9.040 =	49.72000000	
会議室	39	4.095 × 1.010 =	4.13595000	4.13
視聴覚室	40	1.505 × 1.940 =	2.91970000	99.35
	41	4.985 × 1.940 =	9.67090000	
	42	10.410 × 8.335 =	86.76735000	
収納	43	3.050 × 1.440 =	4.39200000	0.78
	44	2.100 × 0.375 =	0.78750000	
PS	45	4.725 × 0.540 =	2.55150000	2.55
EPS	46	1.035 × 2.760 =	2.85660000	2.85
PS	47	0.935 × 1.565 =	1.46327500	1.46
PS	48	0.870 × 1.440 =	1.25280000	1.25

■ 2階室面積計算表

室名	番号	計算式	面積	合計
風除室 (2)	1	2.950 × 2.080 =	6.13600000	34.87
ホール (2)	2	2.950 × 0.545 =	1.60775000	
	3	4.255 × 5.660 =	24.08330000	
	4	3.105 × 0.115 =	0.35707500	
	5	2.460 × 3.590 =	8.83140000	
EV	6	2.250 × 2.200 =	4.95000000	20.77
階段室	7	2.150 × 5.775 =	12.41625000	
	8	2.250 × 1.800 =	4.05000000	
	9	2.250 × 1.775 =	3.99375000	
	10	0.600 × 0.525 =	0.31500000	
男子トイレ (2)	11	4.445 × 1.925 =	8.55625000	10.08
女子トイレ (2)	12	3.460 × 2.440 =	8.44240000	
	13	0.985 × 1.665 =	1.64002500	
倉庫	14	3.535 × 0.775 =	2.73962500	39.52
	15	6.995 × 4.885 =	34.17057500	
	16	1.060 × 2.250 =	2.38500000	
	22	0.330 × 0.700 =	0.23100000	
	17	26.965 × 18.500 =	498.85250000	
体育ホール	18	0.310 × 2.625 =	0.81375000	3.86
PS	19	0.730 × 4.175 =	3.04775000	
PS	20	1.150 × 3.705 =	4.26075000	4.26
EPS	21	1.060 × 2.710 =	2.87260000	2.87

■ 3階室面積計算表

室名	番号	計算式	面積	計
階段室	1	2.150 × 6.300 =	13.54500000	22.77
	2	2.250 × 1.800 =	4.05000000	
	3	2.250 × 2.300 =	5.17500000	
管理通路	4	4.235 × 1.895 =	8.02532500	8.02

■ 消火ポンプ室面積計算表

室名	番号	計算式	面積	計
消火ポンプ室	A	4.245 × 1.775 =	7.53487500	12.26
	B	2.150 × 2.200 =	4.73000000	